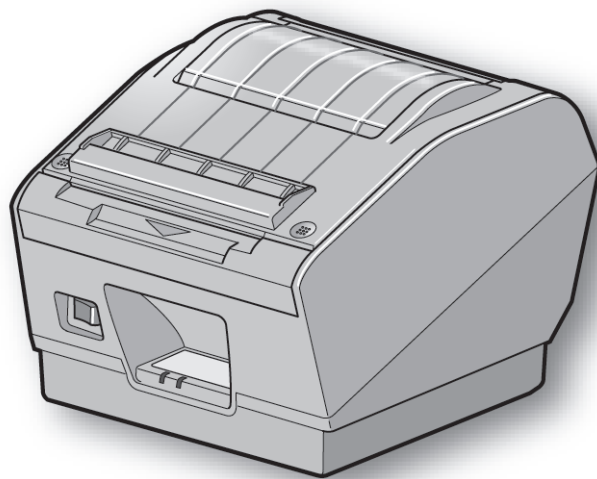


ラベルプリンタ  
**TSP828L**

ソフトウェアマニュアル





# 目 次

1. インストール / アンインストール.....	1
1.1 インストール (Windows 2000 / XP の場合) .....	1
1.1.1 CD インストール .....	2
1.1.2 USB プリンタクラスドライバのインストール .....	5
1.1.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール .....	6
1.1.4 USB ベンダークラスドライバのインストール .....	10
1.2 インストール (Windows Vista / 7 の場合) .....	11
1.2.1 CD インストール .....	11
1.2.2 USB プリンタクラスドライバのインストール .....	15
1.2.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール .....	16
1.2.4 USB ベンダークラスドライバのインストール .....	20
1.3 アンインストール .....	21
1.3.1 Windows2000 / XP の場合 .....	21
1.3.2 Windows Vista / 7 の場合 .....	22
2. Windows 2000/XP/Vista/7 PrinterDriver の設定 .....	24
2.1 デバイスの設定 .....	25
2.2 デバイスの設定 機能一覧.....	26
2.3 用紙サイズの設定.....	29
2.3.1 標準用紙サイズ.....	29
2.3.2 ユーザー定義による用紙サイズの作成.....	31
2.4 印刷色・用紙種類の設定.....	32

3. デバイスフォント .....	33
3.1 デバイスフォント一覧 .....	33
3.2 バーコードフォント .....	35
3.2.1 バーコードフォント一覧 .....	35
3.2.2 バーコードフォント 記述方法 .....	36
3.2.3 バーコードフォント パラメーター一覧 .....	37
3.2.4 Microsoft Word におけるバーコード生成手順 .....	38
3.3 2次元コードフォント .....	40
3.3.1 2次元コードフォント一覧 .....	40
3.3.2 2次元コードフォント 記述方法 .....	41
3.3.3 2次元コード コマンド設定フォント一覧 .....	42
3.3.4 2次元コードフォント使用方法 .....	46
3.4 コントロールフォント .....	51
3.4.1 コントロールフォント機能一覧 .....	51
3.4.2 Microsoft Word におけるコントロールフォント使用方法 .....	53
3.5 デバイスフォント 制限事項 .....	55
4. ドキュメントを印刷する際のガイドライン .....	56
4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意 .....	56
4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意 .....	57
5. イーサネット環境を使用する際のガイドライン .....	59
5.1 手動仮 IP アドレス設定 .....	59
5.2 手動 IP アドレス設定 .....	60
5.3 TCP/IP プリンタポートの設定 .....	63
5.3.1 TCP/IP プリンタポートの追加 .....	63
5.3.2 TCP/IP プリンタポートの変更 .....	66
6. 改訂履歴 .....	68

## はじめに

このソフトウェアは Windows 2000(SP3 以降) / XP / Vista / 7 に対応しています。

TSP828L を USB インターフェイスにてご使用の場合、Windows アプリケーションからの印刷を行なうには "USB プリンタクラスドライバ" を、その他のアプリケーションからの印刷を行なうには "USB ベンダークラスドライバ" をインストールしてご使用ください。

**注意：プリンタのソフトウェアインストールや設定を行う際は、  
コンピュータの管理者権限を持つユーザーで行ってください。**

## 1. インストール / アンインストール

以前のバージョンのドライバをインストールされている場合には、本ドライバをインストールする前に古いバージョンのドライバをアンインストールしてください。

### ■ USB ベンダークラスドライバをご使用になる場合

以前のバージョンのドライバをインストールされていて、本ドライバのインストール後に USB ベンダークラスドライバをご使用になる場合には、以前のバージョンのドライバをアンインストールしていただくほかに、USB ベンダークラスドライバの更新作業が必要となります。

上記に当てはまる場合には、本ドライバのインストールは以下の手順で行なってください。

- ① 以前のバージョンのドライバのアンインストール
- ② 本ドライバのインストール (1 ページ または 11 ページ参照※)
- ③ USB ベンダークラスドライバの更新 (10 ページ または 20 ページ 参照※)

※ ご使用の OS に対応する箇所をご参照ください。

ご使用の OS によって手順が異なりますので、ご使用の環境に合った項をご参照ください。

「1.1 インストール (Windows 2000 / XP の場合)」

「1.2 インストール (Windows Vista / 7 の場合)」

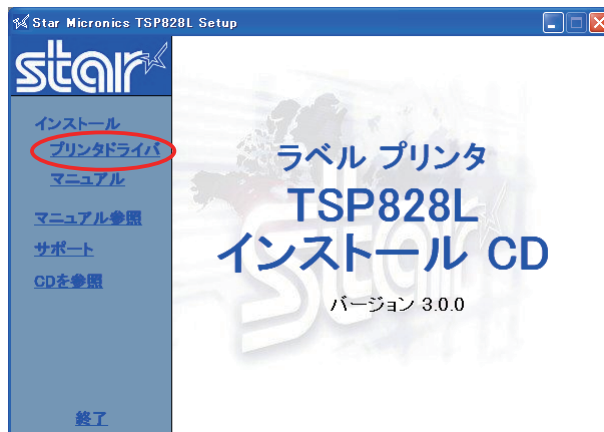
### 1.1 インストール (Windows 2000 / XP の場合)

以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

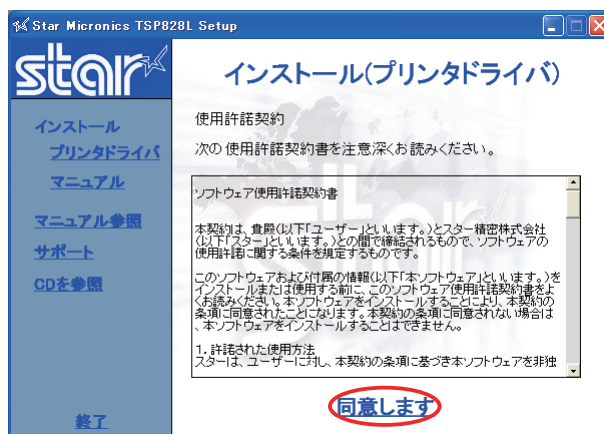
**注記：** USB インターフェイスでご使用の場合は、「1.1.1 CD インストール」を行ってから、ご使用の用途により、「1.1.2 USB プリンタクラスドライバのインストール」または「1.1.4 USB ベンダークラスドライバのインストール」の手順に従って、プリンタの電源を投入してください。

### 1.1.1 CD インストール

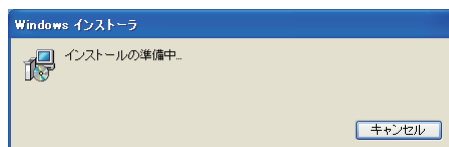
- ① プリンタに添付されている CD-ROM をコンピュータにセットします。  
以下の画面が表示されますので、[インストール]-[プリンタドライバ]をクリックします。



- ② 使用許諾契約書をお読みいただき、内容に同意される場合は[同意します]をクリックします。



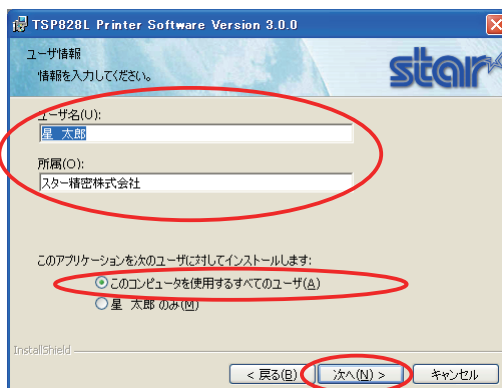
以下の画面が表示され、インストールの準備に入ります。  
ご使用の環境によっては、時間がかかることがあります。



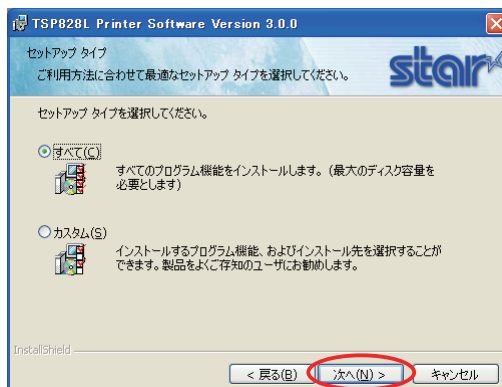
- ③ [次へ] をクリックします。



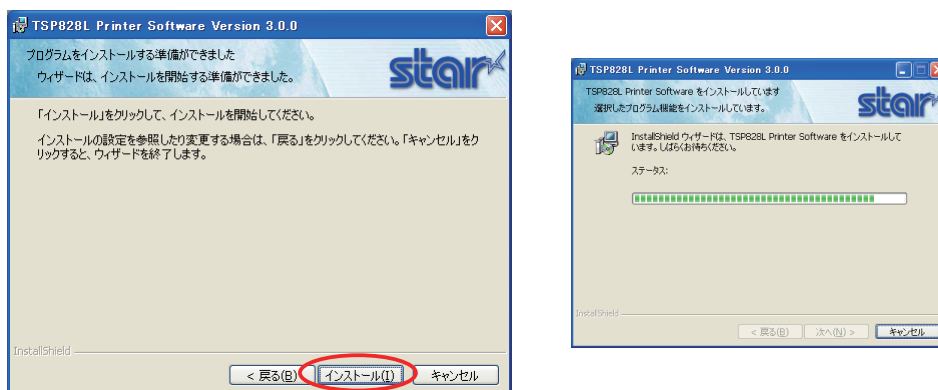
- ④ ユーザ情報を入力します。  
ユーザ名と所属を入力し、インストールを適用するユーザーを選択後、[次へ] をクリックします。



- ⑤ セットアップタイプを選択します。  
"カスタム" を選択すると、必要なプログラム機能のみのインストールを行なうことができます。  
用途に合わせて選択を行い [次へ] をクリックします。



- ⑥ [インストール]をクリックすると、インストールを開始します。



- ⑦ ソフトウェアのインストールが完了しました。  
[完了]ボタンをクリックして、ウィザードを終了します。



- ⑧ プリンタドライバのインストール手順は、ご使用の用途・インターフェイスによって異なります。  
該当する項をご参照ください。

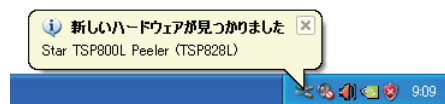
- 「1.1.2 USB プリンタクラスドライバのインストール」
- 「1.1.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール」
- 「1.1.4 USB ベンダークラスドライバのインストール」



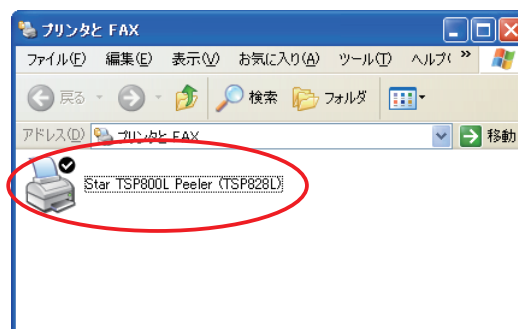
### 1.1.2 USB プリンタクラスドライバのインストール

以下の手順に従って USB プリンタクラスドライバのインストールを行ってください。

- ① プリンタを接続し、電源スイッチを ON にして電源を投入します。  
プラグアンドプレイによって、コンピュータが新しいハードウェアを検出し、自動的にプリンタドライバのインストールを行います。  
この時、Windows 画面右下には以下の表示があります。



- ② スタートメニューから [プリンタと FAX] を選択し、フォルダ内にインストールしたプリンタ <Star TSP828L Peeler(TSP828L)> の表示があれば、インストールは正しく完了しています。

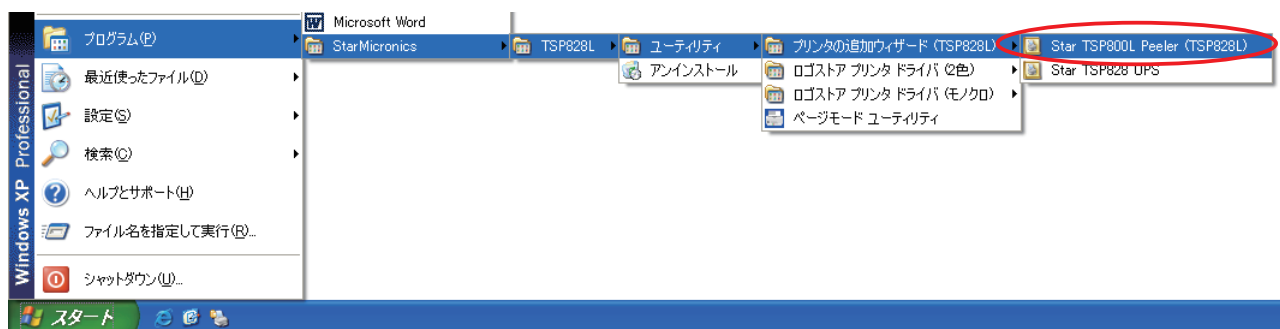


### 1.1.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール

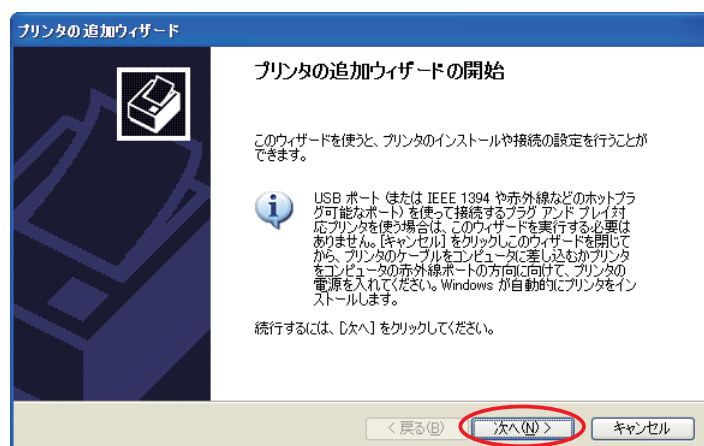
以下の手順に従ってプリンタドライバのインストールを行ってください。

シリアルインターフェイスおよび TCP/IP インターフェイスをご使用の場合は、ポートの設定が必要です。詳しくは「4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意」または「5.3 TCP/IP プリンタポートの設定」をご参照ください。

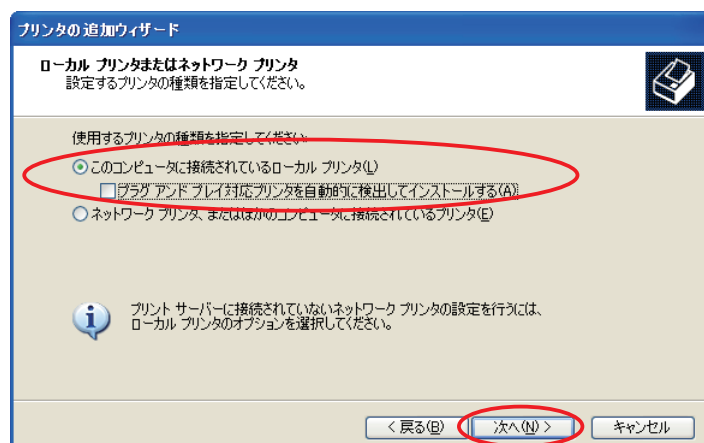
- ① Windows のスタートメニューから [プログラム] - [StarMicronics] - [TSP828L] - [ユーティリティ] - [プリンタの追加ウィザード (TSP828L)] - [Star TSP800L Peeler (TSP828L)] を選択します。



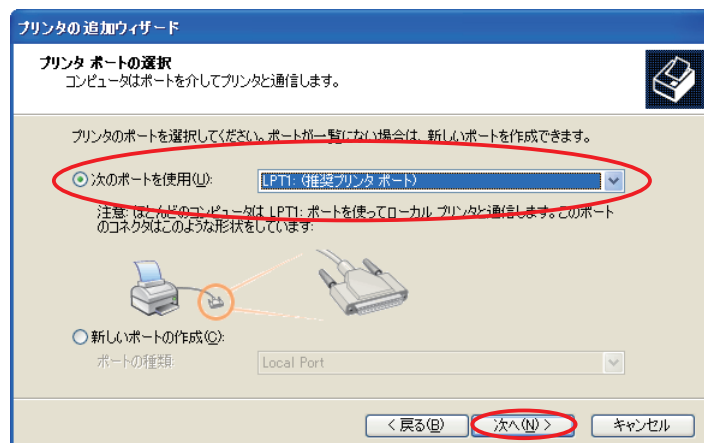
- ② プリンタの追加ウィザード画面が表示されますので [次へ] をクリックします。



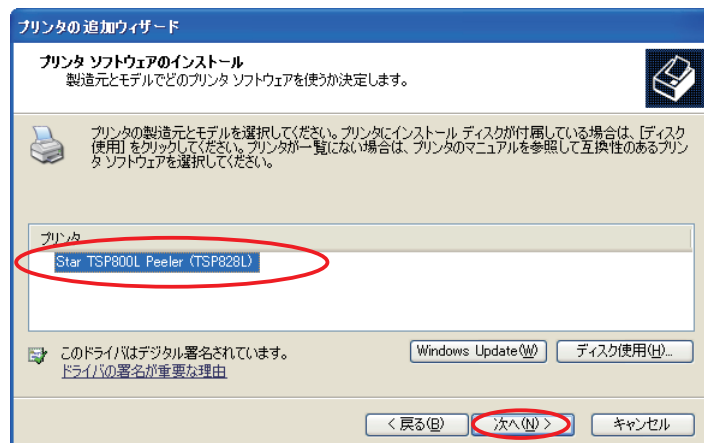
- ③ ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの設定画面が表示されますので、[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ自動検出] がチェックされていた場合はチェックを外してください。[次へ] をクリックします。



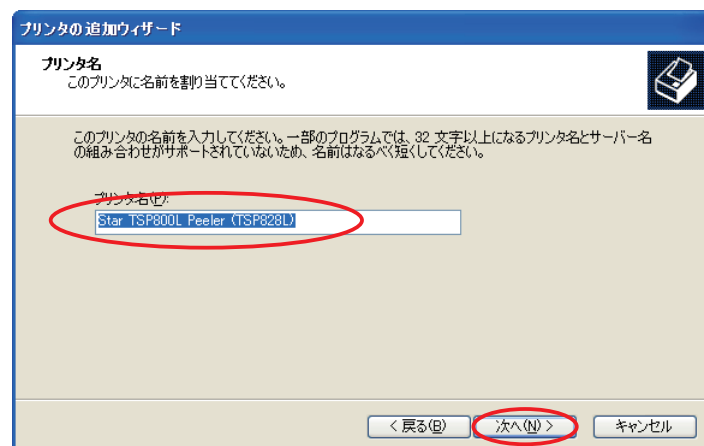
- ④ プリンタポートの選択画面が表示されますので、使用するポートを選択して[次へ]をクリックします。



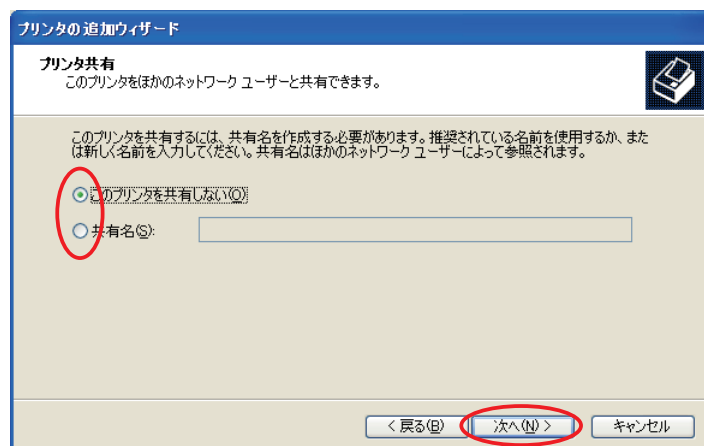
- ⑤ インストールを行なうプリンタを選択して[次へ]をクリックします。



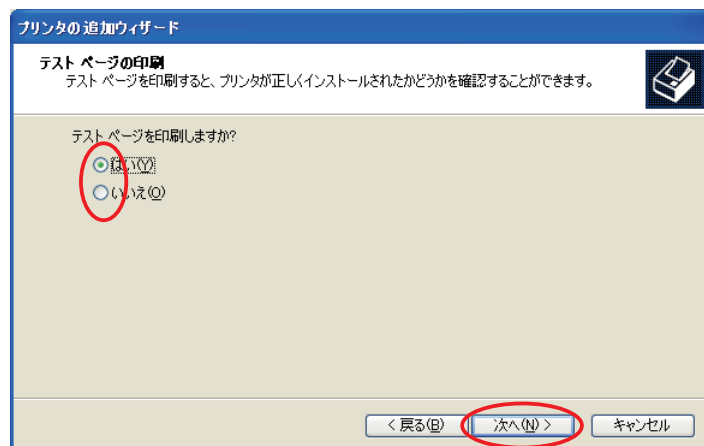
- ⑥ インストール後に Windows 上で使用するプリンタの名前を設定します。変更する場合はプリンタ名を入力してください。内容を確認して[次へ]をクリックします。



- ⑦ プリンタ共有についての設定を選択し、[次へ]をクリックします。

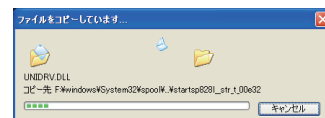
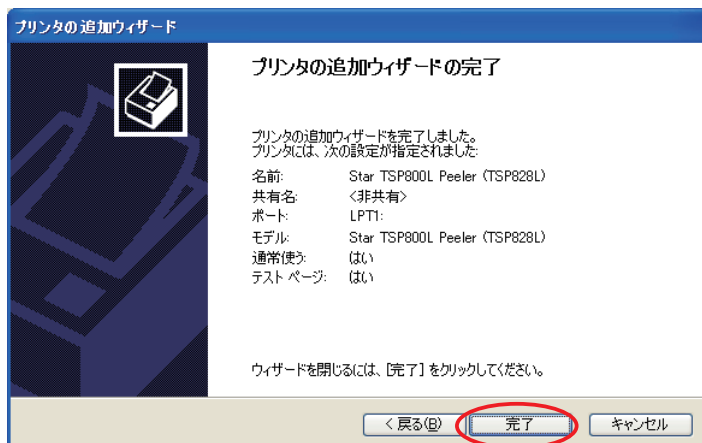


- ⑧ テストページの印刷を行う場合は[はい]を、行わない場合は[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

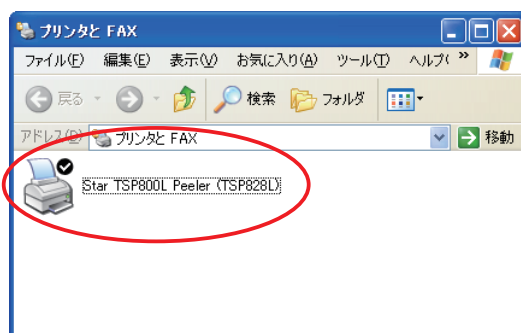


**注記：**シリアルポートをご使用の場合は、ここでのテストページの印刷は行なわないでください。  
また、シリアルポートを使用して印刷する場合は、プリンタと PC のプリンタポートの設定を確認のうえで行なってください。詳しくは「4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意」をご参照ください。

- ⑨ ここまでに設定した内容が表示されますので、内容を確認してください。[完了]をクリックするとプリンタの追加が実行されます。



- ⑩ スタートメニューから [プリンタと FAX] を選択し、フォルダ内にインストールしたプリンタ < Star TSP828L Peeler (TSP828L) > の表示があれば、インストールは正しく完了しています。



### 1.1.4 USB ベンダークラスドライバのインストール

USB ベンダークラスドライバの更新が必要な場合には、以下をご参照ください。

#### ■ USB ベンダークラスドライバの更新

USB ベンダークラスドライバの更新は、別冊の「USB Vendor class 更新マニュアル」をご参照の上  
行なってください。その際、更新ドライバの参照場所として、以下のフォルダを指定してください。  
各 OS 別の対象箇所は以下の通りです。

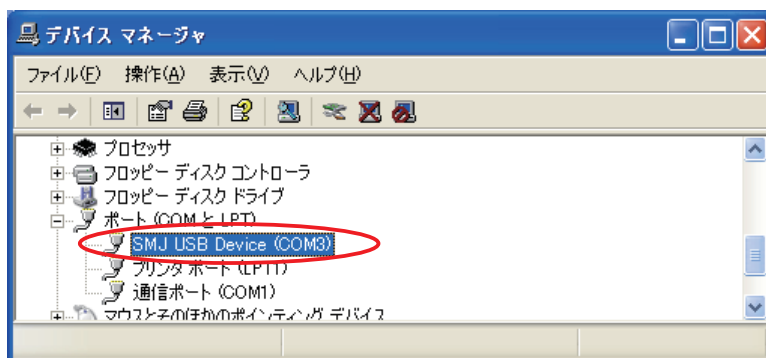
	対象箇所	指定するフォルダ
Windows 2000	P13 ⑨	Program Files\StarMicronics\TSP828L\UsbVendorClassDriver
Windows XP	P7 ⑦	Program Files\StarMicronics\TSP828L\UsbVendorClassDriver

以下の手順に従って USB ベンダークラスドライバのインストールを行ってください。

- ① ディップスイッチの 1－5 を OFF に設定してから、プリンタを接続し電源を投入します。  
プラグアンドプレイによって、自動的に USB ベンダークラスドライバのインストールが行われます。

**Point!** ディップスイッチについての詳細は、別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

- ② スタートメニューから[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]タブより「デバイスマネージャ」を開き、『ポート (COM と LPT)』に "SMJ USB Device(COM \* )" の表示があれば、インストールは正しく完了しています。



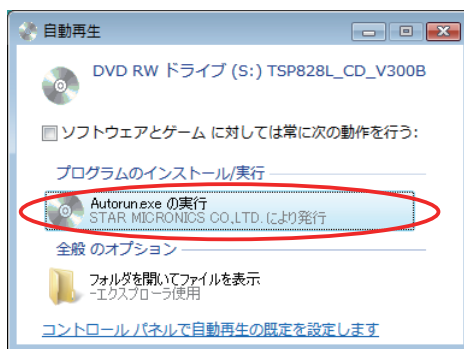
## 1.2 インストール (Windows Vista / 7 の場合)

以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

**注記：**USB インターフェイスでご使用の場合は、「1.2.1 CD インストール」を行ってから、ご使用の用途により、「1.2.2 USB プリンタクラスドライバのインストール」または「1.2.4 USB ベンダークラスドライバのインストール」の手順に従って、プリンタの電源を投入してください。

### 1.2.1 CD インストール

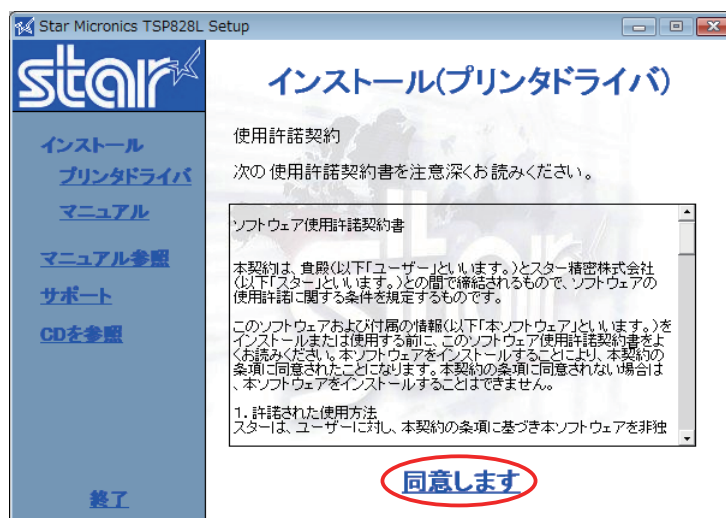
- ① プリンタに添付されている CD-ROM をコンピュータにセットします。  
以下の画面が表示されますので、[Autorun.exe の実行] をクリックします。



- ② 以下の画面が表示されますので、[インストール]-[プリンタドライバ] をクリックします。



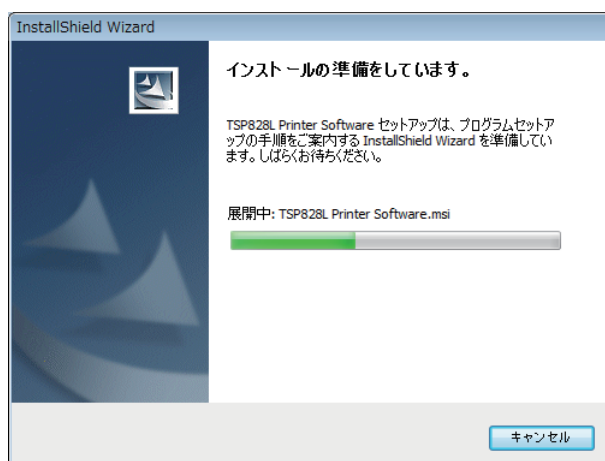
- ③ 使用許諾契約書をお読みいただき、内容に同意される場合は [ 同意します ] をクリックします。



- ④ 『ユーザアカウント制御』の画面が表示されますので、[ 続行 ] または [ 許可 ] をクリックします。

以下の画面が表示され、インストールの準備に入ります。

ご使用の環境によっては、時間がかかることがあります。

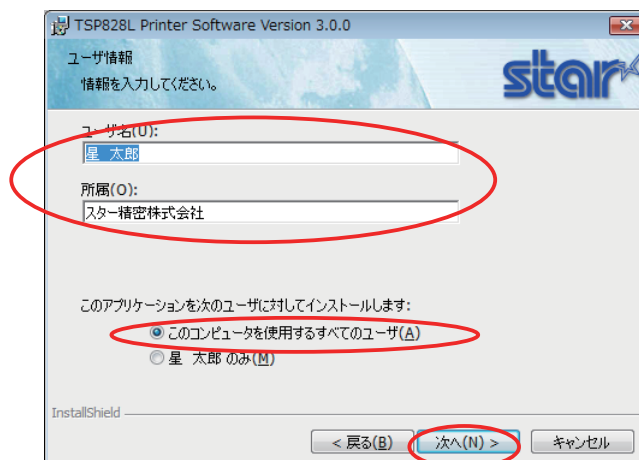


- ⑤ [ 次へ ] をクリックします。

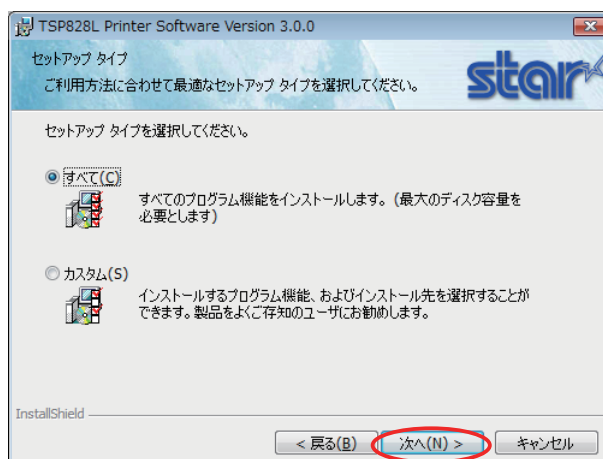




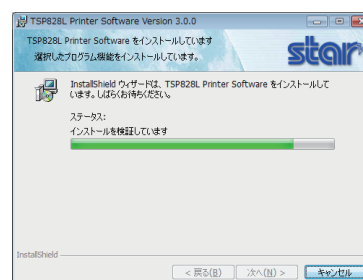
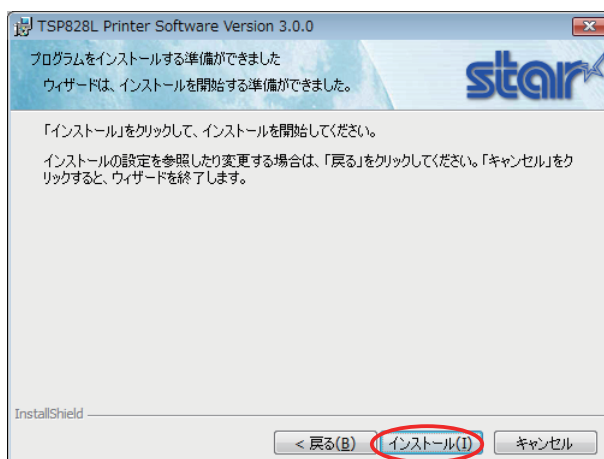
- ⑥ ユーザ情報を入力します。  
ユーザ名と所属を入力し、インストールを適用するユーザーを選択後、[次へ]をクリックします。



- ⑦ セットアップタイプを選択します。  
"カスタム"を選択すると、必要なプログラム機能のみのインストールを行うことができます。  
用途に合わせて選択を行い[次へ]をクリックします。



- ⑧ [インストール]をクリックすると、インストールを開始します。



- ⑨ ソフトウェアのインストールが完了しました。  
[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了します。



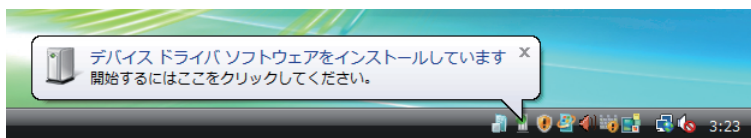
- ⑩ プリンタドライバのインストール手順は、ご使用の用途・インターフェイスによって異なります。  
該当する項をご参照ください。

- 「1.2.2 USB プリンタクラスドライバのインストール」
- 「1.2.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール」
- 「1.2.4 USB ベンダークラスドライバのインストール」

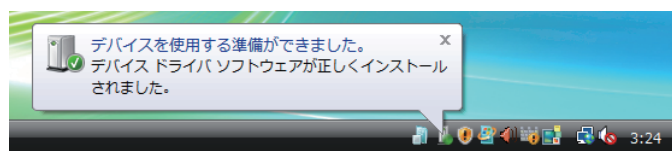
## 1.2.2 USB プリンタクラスドライバのインストール

以下の手順に従って USB プリンタクラスドライバのインストールを行ってください。

- ① プリンタを接続して、電源スイッチを ON にして電源を投入します。  
プラグアンドプレイによって、コンピュータが新しいハードウェアを検出し、自動的にプリンタドライバのインストールが行われます。



インストールが正常に終了しますと、Windows 画面右下には以下の表示があります。



- ② Windows スタートメニューから、Windows Vista では [コントロールパネル] を開き [プリンタ] をクリック、Windows 7 では [デバイスとプリンター] を選択し、プリンタフォルダを開きます。  
フォルダ内にインストールしたプリンタ <Star TSP828L Peeler (TSP828L)> の表示があれば、インストールは正しく完了しています。

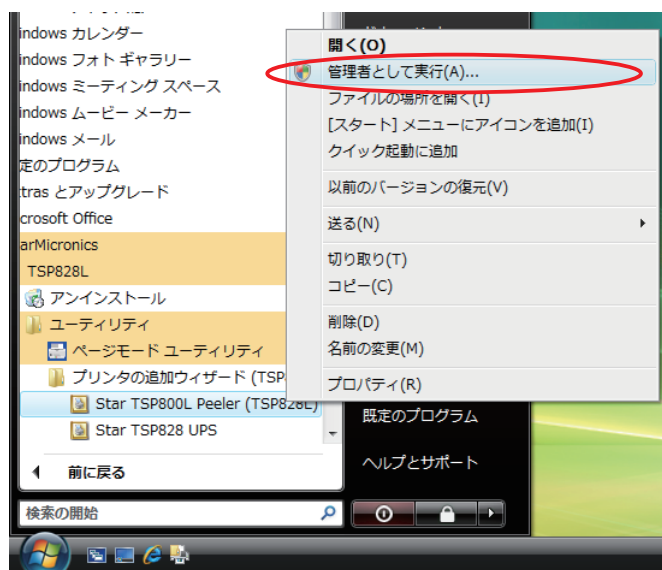


### 1.2.3 USB 以外のプリンタドライバのインストール

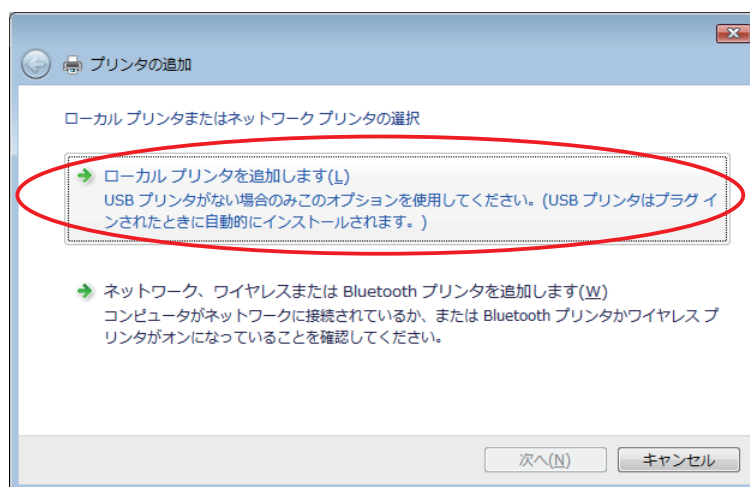
以下の手順に従ってプリンタの追加を行ってください。

シリアルインターフェイスおよび TCP/IP インターフェイスをご使用の場合は、ポートの設定が必要です。詳しくは「4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意」または「5.3 TCP/IP プリンタポートの設定」をご参照ください。

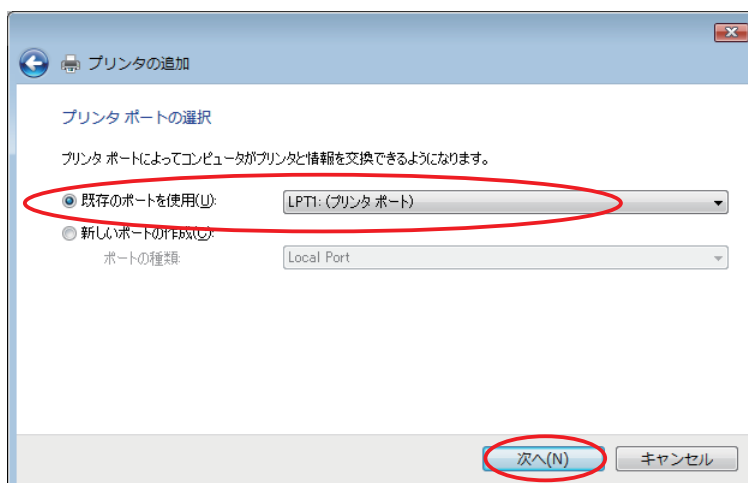
- ① Windows のスタートメニューから [ すべてのプログラム ] - [ StarMicronics ] - [ TSP828L ] - [ ユーティリティ ] - [ プリンタの追加ウィザード (TSP828L) ] を開き、[ Star TSP800L Peeler (TSP828L) ] を右クリックして [ 管理者として実行 ] をクリックします。



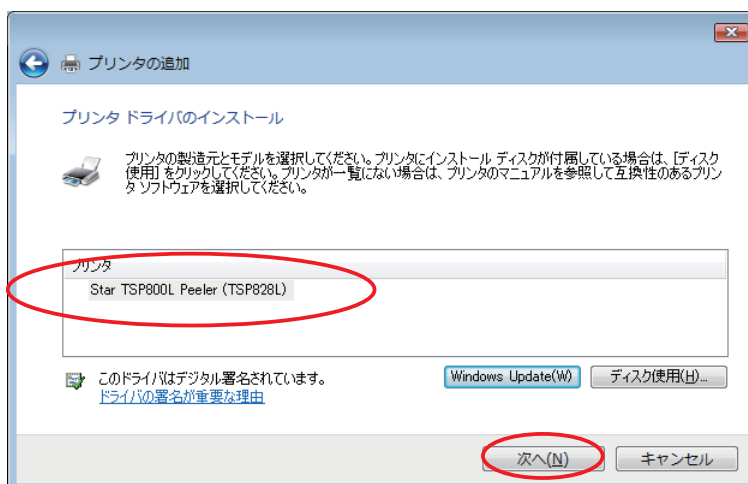
- ② 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので、[ 許可 ] または [ はい ] をクリックします。
- ③ ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの選択画面が表示されますので、[ ローカルプリンタを追加します ] をクリックします。



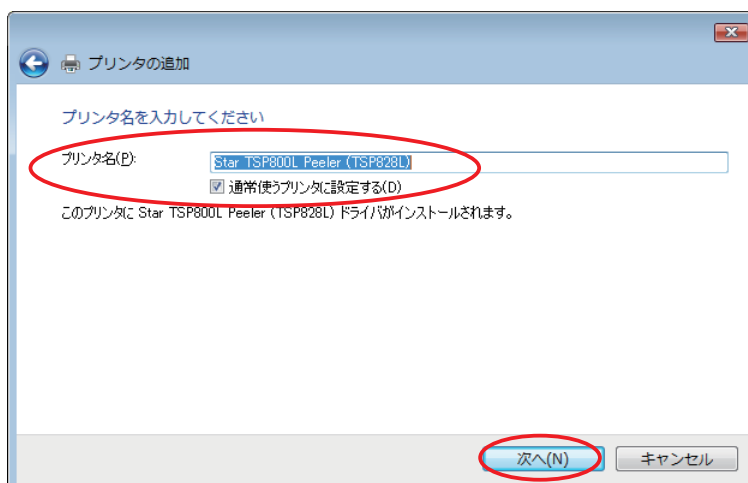
- ④ プリンタポートの選択画面が表示されますので、使用するポートを選択して[次へ]をクリックします。



- ⑤ インストールを行なうプリンタを選択して[次へ]をクリックします。



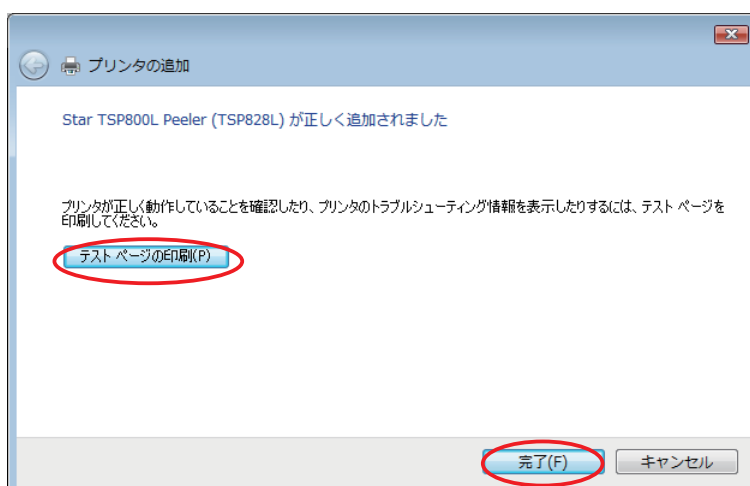
- ⑥ インストール後に Windows 上で使用するプリンタの名前を設定します。変更する場合はプリンタ名を入力してください。また、この時に現在設定しているプリンタを通常使用するプリンタとして設定することができます。[次へ]をクリックするとインストールを開始します。



- ⑦ プリンタ共有についての設定を選択し、[次へ]をクリックします。

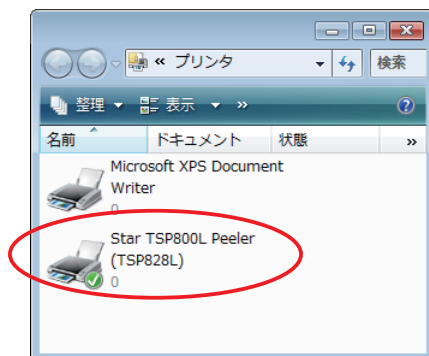


- ⑧ インストールが正常に終了しますと以下の画面が表示されます。印字テストを行う場合は、ここで実行します。[完了] ボタンをクリックすると、インストール画面が終了します。



**注記:**シリアルポートをご使用の場合は、ここでのテストページの印刷は行なわないでください。  
また、シリアルポートを使用して印刷する場合は、プリンタと PC のプリンタポートの設定を確認のうえ行なってください。詳しくは「4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意」をご参照ください。

- ⑨ Windowsスタートメニューから、Windows Vistaでは[コントロールパネル]を開き[プリンタ]をクリック、Windows 7では[デバイスとプリンター]を選択し、プリンタフォルダを開きます。  
フォルダ内にインストールしたプリンタ <Star TSP800L Peeler (TSP828L)> の表示があれば、インストールは正しく完了しています。



## 1.2.4 USB ベンダークラスドライバのインストール

USB ベンダークラスドライバの更新が必要な場合には以下をご参照ください。

### ■ USB ベンダークラスドライバの更新

USB ベンダークラスドライバの更新は、別冊の「USB Vendor class 更新マニュアル」をご参照の上  
行なってください。その際、更新ドライバの参照場所として、以下のフォルダを指定してください。

対象箇所	指定するフォルダ
P2 ⑤	Program Files¥StarMicronics¥TSP828L¥UsbVendorClassDriver

以下の手順に従って USB ベンダークラスドライバのインストールを行ってください。

- ① ディップスイッチの 1 - 5 を OFF に設定してから、プリンタを接続し電源を投入します。  
プラグアンドプレイにより自動的に USB ベンダークラスドライバのインストールが行われます。

**Point!** ディップスイッチについての詳細は、別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

- ② デスクトップの『コンピューター』アイコンを右クリックして、プルダウンメニューより [管理] を開きます。
- ③ 『ユーザアカウント制御』画面が表示されますので、[許可] または [はい] をクリックします。
- ④ 「デバイスマネージャ」を開き、『ポート (COM と LPT)』に "SMJ USB Device (COM \* )" の表示があれば、インストールは正しく完了しています。





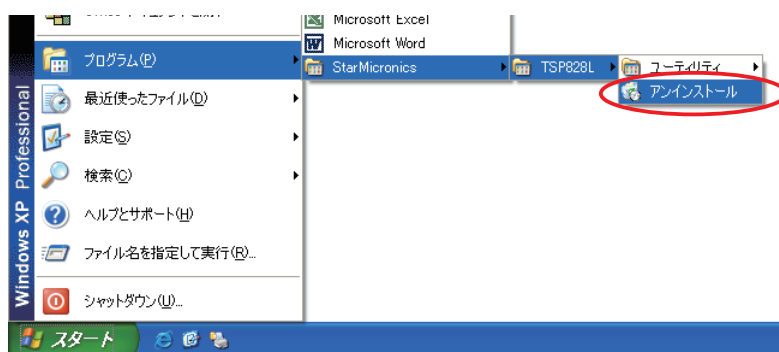
## 1.3 アンインストール

### 1.3.1 Windows2000 / XP の場合

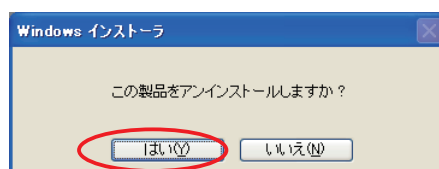
以下の手順に従ってドライバをアンインストールしてください。

**Point!** USB ベンダークラスドライバをご使用の場合は、  
CD-ROM に格納されている "readme\_jp.txt" をご一読ください。

- ① TSP828L の電源スイッチを OFF にして電源を切ります。
- ② Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Star Micronics] - [TSP828L] - [アンインストール] を選択します。



- ③ 以下の画面が表示されますので、続行する場合は [はい] をクリックします。



- ④ アンインストール用プログラムが起動し、TSP828L の全てのソフトウェアを削除します。



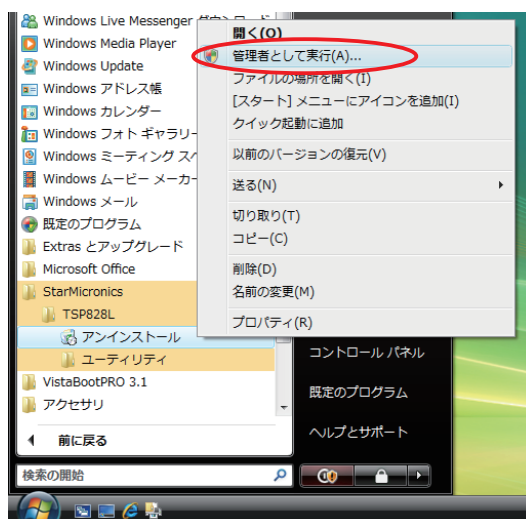
### 1.3.2 Windows Vista / 7 の場合

以下の手順に従って、ドライバをアンインストールしてください。

**注記：** [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]からアンインストールを行った場合、処理が正しく行われません。  
ドライバのアンインストールは、必ず以下の手順で行ってください。

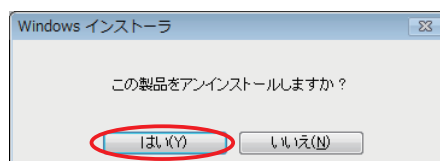
**Point!** USB ベンダークラスドライバをご使用の場合は、  
CD-ROM に格納されている "readme\_jp.txt" をご一読ください。

- ① TSP828L の電源スイッチを OFF にして電源を切ります。
- ② Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Star Micronics] - [TSP828L] - [アンインストール] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。

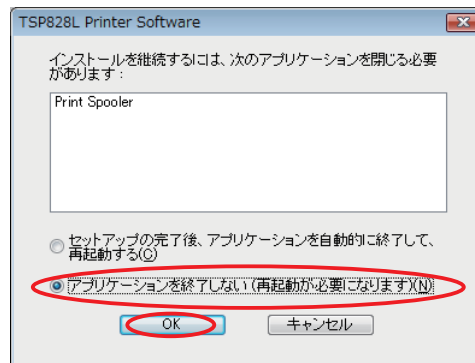


- ③ 『ユーザアカウント制御』の画面が表示されますので [許可] または [はい] をクリックします。

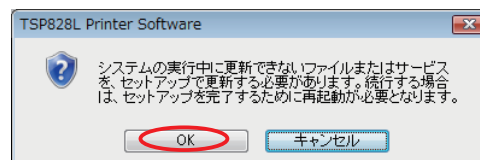
以下の画面が表示されますので、続行する場合は [はい] をクリックします。



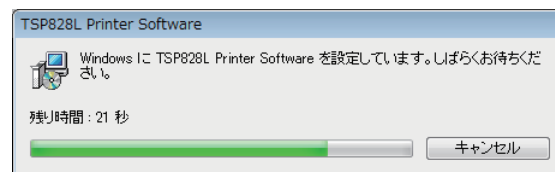
- ④ 以下の確認画面が表示された場合には「アプリケーションを終了しない」を選択して [OK] をクリックします。



- ⑤ 以下の確認画面が表示された場合には [OK] をクリックします。



- ⑥ アンインストール用プログラムが起動し、TSP828L の全てのソフトウェアを削除します。



## 2. Windows 2000/XP/Vista/7 PrinterDriver の設定

本ドライバは、“Raster” と “Line” の 2 つの印刷モードをサポートしています。

“Raster” と “Line” には、それぞれ以下のような特徴があります。

### Raster

- グラフィックの高速印字を実現します。


### Line

- デバイスフォントをサポートします。
- バーコードデバイスフォントの印刷に対応します。

本ドライバのデフォルト印刷モードは “Raster” です。

ドライバで設定できる主な機能は以下の通りです。

	Raster	Line
用紙タイプ	○	○
電源投入時のラベル位置検出	○	○
ページ送り動作	○	○
文書送り動作	○	○
印字速度	○	○
印刷濃度	○	○
文書先頭 / 末尾ロゴ	×	○
ページ先頭 / 末尾ロゴ	×	○
ページ先頭 / 末尾ロゴ	×	○
印字品質	×	○
2 色印字	○	×
デバイスフォント	×	○
コントロールフォント	×	○
バーコードフォント	×	○
2 次元バーコード	×	○

**注記：** 同時には設定できない機能があります。デバイス設定の項目に  マークが表示された場合には「2.2 デバイスの設定 機能一覧」をご参照のうえ、設定内容を確認してください。

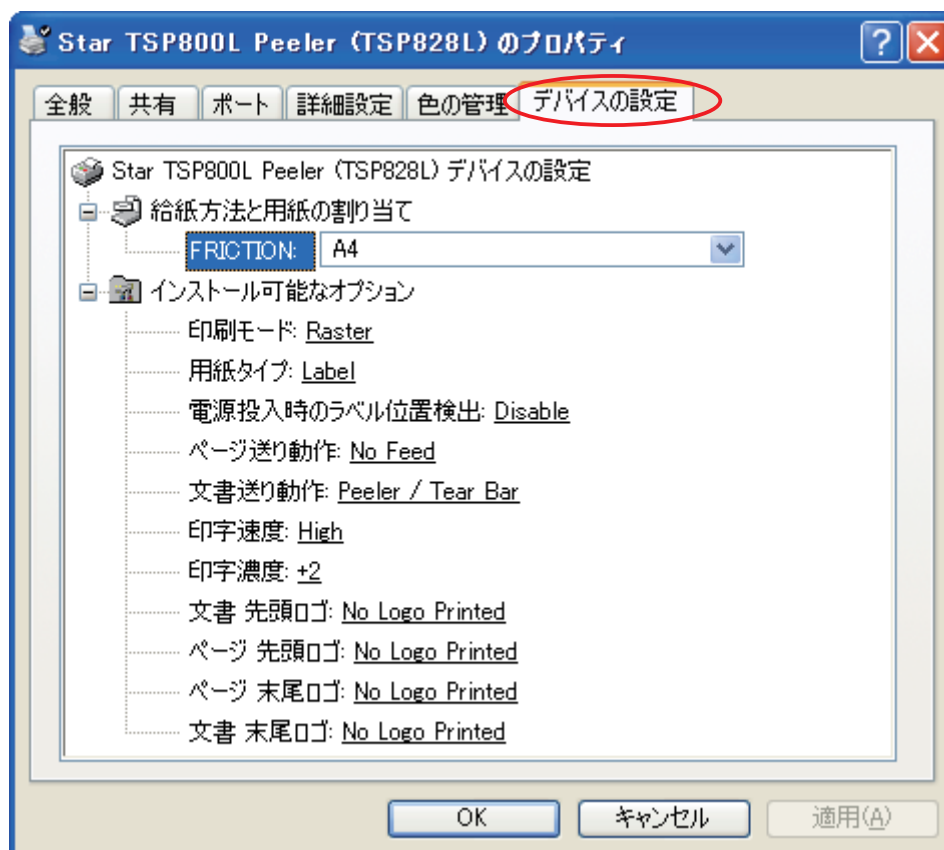
**Point!** アプリケーションを起動したままで印刷モード（Raster / Line）の切り替えを行っても、設定が正しく反映されないことがあります。印刷モードの切り替えを行った際には、アプリケーションの再起動を行ってください。

## 2.1 デバイスの設定

プリンタのプロパティでドライバの機能を設定することができます。

まず、以下の手順にてプロパティを開きます。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと FAX ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックしてプルダウンメニューより、Windows 2000/XP では [ プロパティ ] を、Windows Vista では [ 管理者として実行 ] - [ プロパティ ] を、Windows 7 では [ プリンターのプロパティ ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合には、“ユーザアカウント制御画面”が表示されますので、[ 続行 ] をクリックします。
- ④ プロパティ画面が開きますので、「デバイスの設定」タブをクリックします。



**Point!** 本章にてご説明する様々な機能は、印刷モード“Raster”と“Line”では設定できる内容が異なります。本マニュアルでは、機能名の右側にその機能の設定が行える印刷モードを **Raster** ・ **Line** の表示にてお知らせしています。

## 2.2 デバイスの設定 機能一覧

### ・印刷モード

Raster

Line

印刷モードの設定をします。

各モードについての詳細は「2. Windows 2000/XP/Vista/7 PrinterDriver の設定」をご参照ください。

設定値	初期値	詳 細
Raster	○	"Raster" に設定します。
Line		"Line" に設定します。

### ・用紙タイプ

Raster

Line

用紙タイプを設定します。

設定値	初期値	詳 細
Label	○	ラベル用紙を使用するときに選択します。
Receipt		可変長制御：ページ終端までの余白データは出力しません。
Ticket		固定長制御：ページ終端までの余白データを余白として出力します。

### ・電源投入時のラベル位置検出

Raster

Line

この機能を "Enable" に設定すると、プリンタのディップスイッチ 1-8 を OFF (ノーマルモード) として、「用紙タイプ」を "Label" に設定して使用する際、電源投入後または「用紙タイプ」を "Label" に変更後の初回印刷時に、ラベル位置が途中である場合に次ページのラベル先頭位置まで紙送りを行ないます。

「用紙タイプ」に "Label" を選択した時のみ有効となります。

設定値	初期値	詳 細
Disable	○	初回印刷時にラベル位置検出による紙送りを行いません。
Enable		初回印刷時にラベル位置検出による紙送りを行います。

**注記：**「用紙タイプ」が "Receipt" または "Ticket" に設定されている時は、使用できません。

**Point!**

プリンタのディップスイッチ 1-8 を ON (ラベルモード：工場出荷時初期値) に設定して使用した場合、無条件でラベル位置検出を行ないます。

ディップスイッチについて詳しくは、別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

## ・ページ送り動作

Raster

Line

最後のページを除いた、すべてのページの終わりに実行される用紙送り動作を設定します。  
ラベルロール紙を“はく離モード”で使用されている場合には、「ページ送り動作」の設定内容に関わらず用紙送り動作を行ないます。

設定値	初期値	詳 細
No Feed	○	用紙送りの動作を行ないません。
Peeler / Tear Bar		Tear Bar（カット位置）まで紙送りを行ないます。

**memo** “はく離モード”の設定方法について、詳しくは別冊の「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

## ・文書送り動作

Raster

Line

最後のページに実行される用紙送り動作を設定します。  
ラベルロール紙を“はく離モード”で使用されている場合には、「文書送り動作」の設定内容に関わらず用紙送り動作を行ないます。

設定値	初期値	詳 細
No Feed	○	用紙送りの動作を行ないません。
Peeler / Tear Bar		Tear Bar（カット位置）まで紙送りを行ないます。

**memo** “はく離モード”の設定方法について、詳しくは別冊の「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

## ・印字速度

Raster

Line

印字の速度を設定します。印字速度の設定によって印字品質も変わります。

設定値	初期値	詳 細
High	○	印字品質よりも印字速度を優先します。
Middle		印字品質も印字速度も中間的な設定です。
Low		最高の印字品質を得られますが、印字速度は遅くなります。

**注記：**カラー印刷設定時、印字速度の設定は無効（一定）となります。

## ・印字濃度

Raster

Line

印字の濃度を設定します。

設定値	初期値	詳 細
-3 ～ -1		-（マイナス）の数値が大きいほど印字が薄くなります。
Standard		通常の濃度で印字します。
+1 ～ +3	○（+2）	+（プラス）の数値が大きいほど印字が濃くなります。

### ・文書 先頭ロゴ

Line

文書の先頭にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。  
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	文書の先頭にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴを文書の先頭に印刷します。

**注記：**「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

### ・ページ 先頭ロゴ

Line

ページの先頭にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。  
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	ページの先頭にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴをページの先頭に印刷します。

**注記：**「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

### ・ページ 末尾ロゴ

Line

ページの末尾にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。  
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	ページの末尾にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴをページの末尾に印刷します。

**注記：**「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。

### ・文書 末尾ロゴ

Line

文書の末尾にロゴを印字する場合、登録されているロゴ（グラフィックデータ）の番号を選択します。  
この設定を行う前に、プリンタにロゴを登録しておく必要があります。

設定値	初期値	詳 細
No Logo Printed	○	文書の末尾にロゴを印刷しません。
Print Logo 1 ～ 10		選択された番号のロゴを文書の末尾に印刷します。

**注記：**「印刷モード」に "Line" 設定時のみ有効です。



## 2.3 用紙サイズの設定

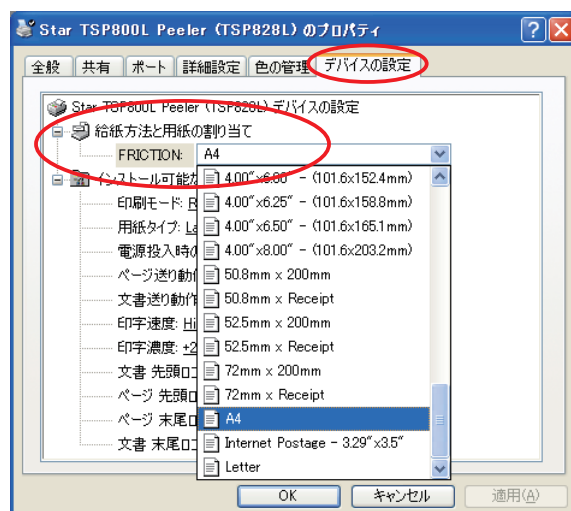
Raster

Line

本ドライバでは、あらかじめドライバで定義されている標準用紙サイズと、ユーザーが定義する用紙サイズを使用することができます。

### 2.3.1 標準用紙サイズ

ドライバのプロパティ画面より[デバイスの設定]タブをクリックすると、用紙サイズを選択することができます。



用紙サイズは、ロール用紙（Receipt / Ticket）を主な対象とした A グループと、ラベル用紙（Label）を主な対象とした B グループに分かれています。

#### ◆ A グループ（主にロール用紙対象）

用紙名	初期値	印刷可能範囲		マージン (上下左右)
		幅	高さ	
104mm x 200mm		104mm	200mm	0mm
104mm x Receipt		104mm	OS 最大印字高さ※	0mm
A4	○	210mm	297mm	0mm
Letter		8.5 inch	11 inch	0mm
50.8mm x 200mm		50.8mm	200mm	0mm
50.8mm x Receipt		50.8mm	OS 最大印字高さ※	0mm
52.5mm x 200mm		52.5mm	200mm	0mm
52.5mm x Receipt		52.5mm	OS 最大印字高さ※	0mm
72mm x 200mm		72mm	200mm	0mm
72mm x Receipt		72mm	OS 最大印字高さ※	0mm

※ OS 最大印字高さは、一般に約 3 m（3,000mm）程度です。

**Point!** マージン（余白）を考慮して用紙幅よりも印字幅が小さくなるように設定を行ってください。

◆ B グループ (主にラベル用紙対象)

用紙名	印刷可能範囲		マージン (mm)			
	幅 (mm)	高さ (mm)	左	右	上	下
Internet Postage - 3.29" x 3.5"	78.6	82.9	2.5	2.5	3	3
2.00" x 1.37" - (50.8 x 34.8mm)	45.8	28.8	2.5	2.5	3	3
2.00" x 1.50" - (50.8 x 38.1mm)	45.8	32.1	2.5	2.5	3	3
2.00" x 2.00" - (50.8 x 50.8mm)	45.8	44.8	2.5	2.5	3	3
2.00" x 4.00" - (50.8 x 101.6mm)	45.8	95.6	2.5	2.5	3	3
2.20" x 2.00" - (55.9 x 50.8mm)	50.9	44.8	2.5	2.5	3	3
2.20" x 3.00" - (55.9 x 76.2mm)	50.9	70.2	2.5	2.5	3	3
2.20" x 4.00" - (55.9 x 101.6mm)	50.9	95.6	2.5	2.5	3	3
2.25" x 1.37" - (57.1 x 34.8mm)	52.1	28.8	2.5	2.5	3	3
2.25" x 2.00" - (57.1 x 50.8mm)	52.1	44.8	2.5	2.5	3	3
2.25" x 3.00" - (57.1 x 76.2mm)	52.1	70.2	2.5	2.5	3	3
2.25" x 4.00" - (57.1 x 101.6mm)	52.1	95.6	2.5	2.5	3	3
2.25" x 5.50" - (57.1 x 139.7mm)	52.1	133.7	2.5	2.5	3	3
2.38" x 5.50" - (50.8 x 139.7mm)	55.4	133.7	2.5	2.5	3	3
2.50" x 2.00" - (63.5 x 50.8mm)	58.5	44.8	2.5	2.5	3	3
3.00" x 2.00" - (76.2 x 50.8mm)	71.2	44.8	2.5	2.5	3	3
3.00" x 2.25" - (76.2 x 57.2mm)	71.2	51.2	2.5	2.5	3	3
3.00" x 3.00" - (76.2 x 76.2mm)	71.2	70.2	2.5	2.5	3	3
3.00" x 3.70" - (76.2 x 94.0mm)	71.2	88.0	2.5	2.5	3	3
3.00" x 4.00" - (76.2 x 101.6mm)	71.2	95.6	2.5	2.5	3	3
3.25" x 2.00" - (82.6 x 50.8mm)	77.6	44.8	2.5	2.5	3	3
3.25" x 5.00" - (82.6 x 127.0mm)	77.6	121.0	2.5	2.5	3	3
3.25" x 5.50" - (82.6 x 139.7mm)	77.6	133.7	2.5	2.5	3	3
3.25" x 5.83" - (82.6 x 148.1mm)	77.6	142.1	2.5	2.5	3	3
3.25" x 7.38" - (82.6 x 187.5mm)	77.6	181.5	2.5	2.5	3	3
4.00" x 1.50" - (101.6 x 38.1mm)	96.6	32.1	2.5	2.5	3	3
4.00" x 2.00" - (101.6 x 50.8mm)	96.6	44.8	2.5	2.5	3	3
4.00" x 2.50" - (101.6 x 63.5mm)	96.6	57.5	2.5	2.5	3	3
4.00" x 3.00" - (101.6 x 76.2mm)	96.6	70.2	2.5	2.5	3	3
4.00" x 4.00" - (101.6 x 101.6mm)	96.6	95.6	2.5	2.5	3	3
4.00" x 5.00" - (101.6 x 127.0mm)	96.6	121.0	2.5	2.5	3	3
4.00" x 6.00" - (101.6 x 152.4mm)	96.6	146.4	2.5	2.5	3	3
4.00" x 6.25" - (101.6 x 158.8mm)	96.6	152.8	2.5	2.5	3	3
4.00" x 6.50" - (101.6 x 165.1mm)	96.6	159.1	2.5	2.5	3	3
4.00" x 8.00" - (101.6 x 203.2mm)	96.6	197.2	2.5	2.5	3	3
4.00" x 13.00" - (101.6 x 330.2mm)	96.6	324.2	2.5	2.5	3	3

### 2.3.2 ユーザー定義による用紙サイズの作成

Raster

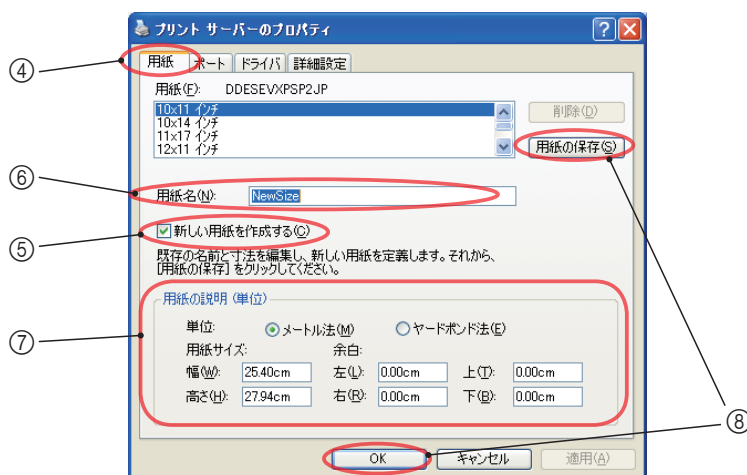
Line

ユーザー定義による用紙サイズの作成は、以下の手順で行います。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと Fax ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② Windows 2000/XP/Vista では、起動したフォルダの余白部分を右クリックしてプルダウンメニューより、Windows 2000/XP では [ サーバーのプロパティ ] を、Windows Vista では [ 管理者として実行 ] - [ サーバーのプロパティ ] をクリックします。Windows 7 では、設定するプリンタのアイコンを選択して、メニューより [ プリントサーバープロパティ ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合は、“ ユーザアカウント制御画面 ” が表示されますので、[ 続行 ] をクリックします。
- ④ [ 用紙 ] タブをクリックします。
- ⑤ “ 新しい用紙を作成する ” のチェックボックスを選択します。
- ⑥ “ 用紙名 ” に現在表示されている名前を編集して、新しい名前を設定します。
- ⑦ “ 用紙の説明 ” 内で寸法の単位を選択し、用紙サイズの「幅」と「高さ」を入力します。

**注記：余白は、左右・上下すべての値を “ 0 ” に設定してください。**

- ⑧ [ 用紙の保存 ] ボタンをクリックします。[ OK ] ボタンをクリックして画面を閉じます。



設定可能な用紙サイズは以下の通りです。

用紙幅		用紙高さ	
最小値	最大値	最小値	最大値
30 mm	104 mm	25.4 mm	OS 最大印字高さ ※

※ OS 最大印字高さは、一般に約 3 m (3,000mm) 程度です。

**Point!** ユーザー定義により作成された用紙サイズは、定義された幅と高さがプリンタにとって適切な範囲であれば、各ドライバでの利用が可能となります。

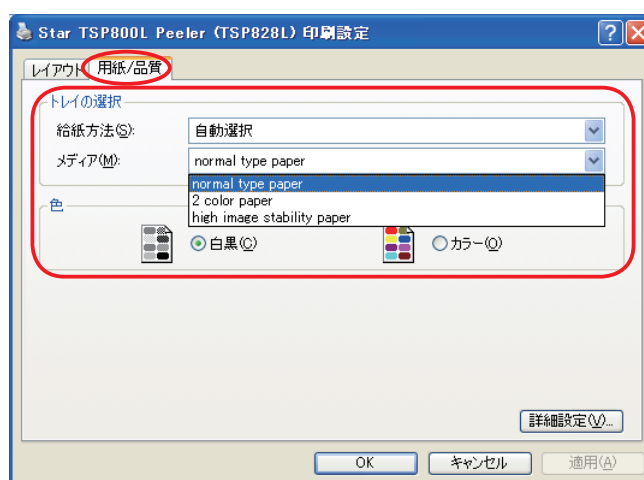
## 2.4 印刷色・用紙種類の設定

**Raster**

デバイス設定にて「印刷モード」に「Raster」設定時、2色のカラー印刷に対応しています。

2色印刷を行う場合、また、特殊用紙等を使用して印刷を行う場合には、以下の設定を行ってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと Fax ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② 設定するプリンタのアイコンを右クリックして、プルダウンメニューより [ 印刷設定 ] をクリックします。
- ③ [ 用紙 / 品質 ] タブをクリックします。  
指定する印刷色に合った用紙の種類を選択して、以下の設定を行ってください。



### ■ 通常の黒印刷を行う場合（通常サーマル紙）

メディア : "normal type paper"  
色 : "白黒"

### ■ カラー印刷を行う場合（2色サーマル紙）

メディア : "2 color paper"  
色 : "カラー"

### ■ 特殊用紙への印刷を行う場合（通常の黒印刷よりも濃い黒印刷 / 一部高保存紙のような特殊用紙）

メディア : "high image stability paper"  
色 : "白黒"

### 3. デバイスフォント

Line

本プリンタドライバは、プリンタに内蔵される様々なデバイスフォントに対応しています。

プリンタフォントには、いくつかのフォントサイズが用意されており、TrueType フォントを使用するよりも鮮明な印刷が可能です。バーコードフォント／2次元コードフォントは、コードを入力することによって様々な規格・サイズのバーコード／2次元コードを生成し、印刷することができます。

コントロールフォントを使用して、キャラクタベースのコマンドを印刷ジョブに埋め込むことによってプリンタの制御をすることができます。

各デバイスフォントは、プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

#### 3.1 デバイスフォント一覧

本プリンタドライバが対応するデバイスフォント一覧です。

デバイスフォントを使用する際はアプリケーションの書式設定で、フォントと正しいフォントサイズ（ポイント）を指定してください。

Microsoft Word/Excel においては、高さ 24 ピクセル＝8.5 ポイントで指定します。

フォント名	幅 (ピクセル)	高さ (ピクセル)	桁数 72mm (576 ドット)	詳 細
Printer 17cpi	12	24	48	プリンタフォント (ANK フォント)
Printer 8.5cpi	24	24	24	
Printer 17cpi Tall	12	48	48	
Printer 8.5cpi Tall	24	48	24	
Printer 16cpi	13	24	44	
Printer 8cpi	26	24	22	
Printer 16cpi Tall	13	48	44	
Printer 8cpi Tall	26	48	22	
Printer 14cpi	15	24	38	
Printer 7cpi	30	24	19	
Printer 14cpi Tall	15	48	38	
Printer 7cpi Tall	30	48	19	
Printer 17cpi (RED)	12	24	48	
Printer 8.5cpi (RED)	24	24	24	
Printer 17cpi Tall (RED)	12	48	48	
Printer 8.5cpi Tall (RED)	24	48	24	
Printer 16cpi (RED)	13	24	44	
Printer 8cpi (RED)	26	24	22	
Printer 16cpi Tall (RED)	13	48	44	
Printer 8cpi Tall (RED)	26	48	22	

フォント名	幅 (ピクセル)	高さ (ピクセル)	桁数 72 mm (576 ドット)	詳 細
Printer 14cpi (RED)	15	24	38	プリンタフォント (ANK フォント)
Printer 7cpi (RED)	30	24	19	
Printer 14cpi Tall (RED)	15	48	38	
Printer 7cpi Tall (RED)	30	48	19	
UPC-E	12	24	48	バーコードフォント
UPC-A	12	24	48	
JAN/EAN-8	12	24	48	
JAN/EAN-13	12	24	48	
CODE39	12	24	48	
ITF	12	24	48	
NW-7(Codabar)	12	24	48	
QR__CNTL	1	24	576	二次元コードフォント
PDF417	1	24	576	
DATA1	1	24	576	
DATA2	1	24	576	
DATA3	1	24	576	
Control	12	24	48	コントロールフォント
ESC_FONT	1	24	576	

## 3.2 バーコードフォント

Line

バーコードフォントを選択しコード入力することによって、バーコードの生成と印刷が可能です。

バーコード印刷を実行すると、バーコードイメージを印刷し、その下に添え字が印刷されます。

バーコードイメージはアプリケーションの画面上には表示されません。

バーコードフォントは、プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

### 3.2.1 バーコードフォント一覧

下表の内容はサポートされているバーコードフォントの種類と使用可能な文字の種類です。

バーコードタイプ	使用可能文字桁数	使用可能な文字セット
UPC-E	12 桁	数値：0 ～ 9
UPC-A	12 桁	数値：0 ～ 9
JAN/EAN-8	8 桁	数値：0 ～ 9
JAN/EAN-13	13 桁	数値：0 ～ 9
CODE39	1 桁以上	数値：0 ～ 9 記号：－, . , <SP>, \$, /, +, % アルファベット：A ～ Z スタート・ストップコード：* (※ 1)
ITF	2 桁以上 (ただし、偶数)	数値：0 ～ 9
NW-7 (Codabar)	1 桁以上	数値：0 ～ 9 記号：－, \$, :, /, . , +, アルファベット：A ～ D

※ 1) スタート・ストップコードは自動的に入力されるため、コード入力時には指定不要です。

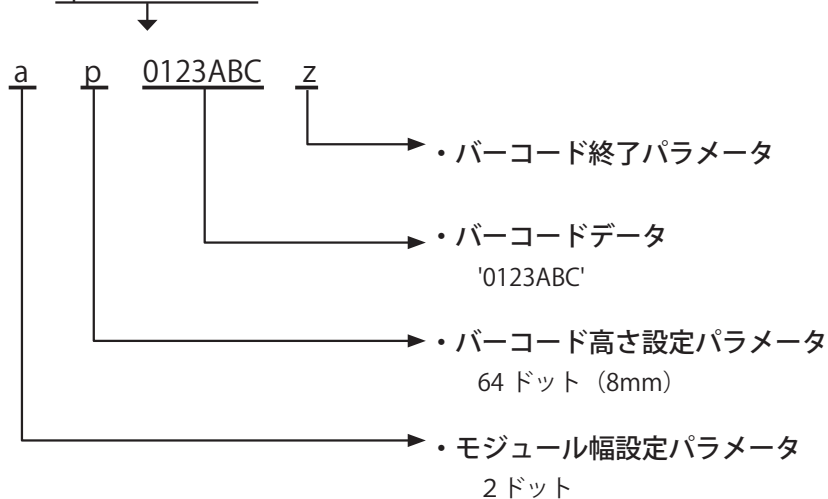
### 3.2.2 バーコードフォント 記述方法

バーコードフォントは、“モジュールの幅設定パラメータ”、“バーコードの高さ設定パラメータ”、“バーコードデータ”、“バーコード終了パラメータ”のフィールドからなり、それぞれのフィールドを結合して記述します。

さらに詳しい内容については、別冊の「スターラインモードコマンド仕様書」をご参照ください。

例) CODE39 (モジュール幅 2 ドット / バーコード高さ 8mm) で '0123ABC' のバーコードを生成する場合

入力データ: apABCDE67890z



印刷結果:



各パラメータの詳細は「3.2.3 バーコードフォント パラメーター一覧」をご参照ください。



### 3.2.3 バーコードフォントパラメーター一覧

#### ■ 最小モジュール幅設定パラメータ

文字	UPC-E,UPC-A, JAN/EAN-8, JAN/EAN-13	CODE39 NW-7 (※1)	ITF (※1)
a	2 ドット	2 ドット (6)	2 ドット (5)
b	3 ドット	3 ドット (9)	4 ドット (10)
c	4 ドット	4 ドット (12)	6 ドット (15)
d	—	2 ドット (5)	2 ドット (4)
e	—	3 ドット (8)	4 ドット (8)
f	—	4 ドット (10)	6 ドット (12)
g	—	2 ドット (4)	2 ドット (6)
h	—	3 ドット (6)	3 ドット (9)
i		4 ドット (8)	4 ドット (12)

※1) モードの ( ) 内の数字は、太いパターンのドット数を示しています。

#### ■ バーコード高さ設定パラメータ

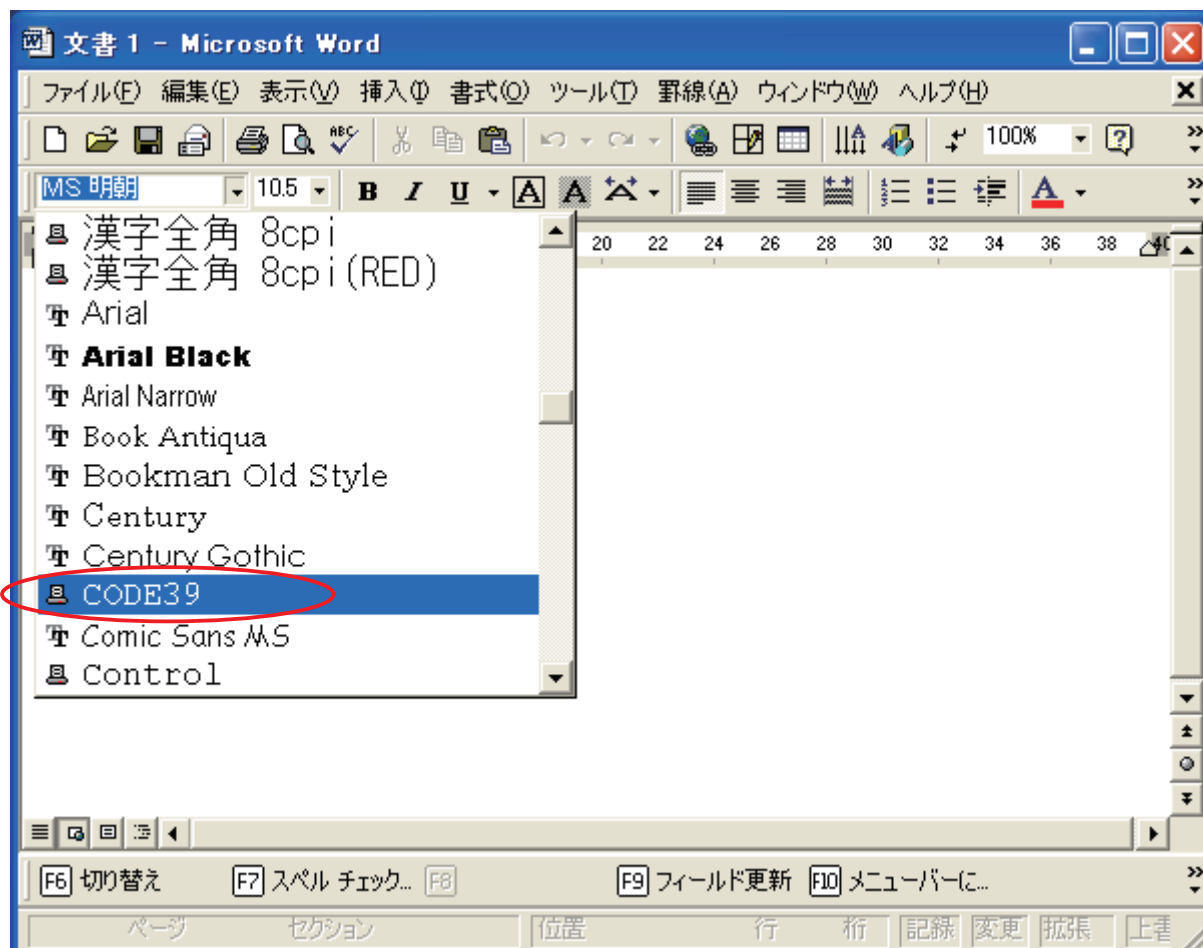
文字	バーコード高さ
o	バーコード高さ：32 ドット (4 mm)
p	バーコード高さ：64 ドット (8 mm)
q	バーコード高さ：96 ドット (12 mm)
r	バーコード高さ：128 ドット (16 mm)
s	バーコード高さ：160 ドット (20 mm)
t	バーコード高さ：192 ドット (24 mm)
u	バーコード高さ：224 ドット (28 mm)
v	バーコード高さ：255 ドット (31.9 mm)

#### ■ バーコード終了パラメータ

文字	機 能
z	バーコードデータの終了コード (1EH)

### 3.2.4 Microsoft Word におけるバーコード生成手順

- ① フォントの一覧よりバーコード名のついたデバイスフォントを選択します。  
以下の例では「CODE39」のバーコードフォントを使用します。



注記：合わせて「4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意」をご参照ください。

- ② コードを入力します。  
また、フォント高さの設定を行います。(CODE39 の場合は "8.5" に設定します。)



- ③ 印刷します。  
印刷を実行することによって、バーコードが生成され印刷されます。

< 印字結果 >



### 3.3 2次元コードフォント

Line

本プリンタドライバは、2次元コードフォント - QRコード / PDF417 に対応します。

2次元コードフォントは、プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

QRコード・PDF417の印刷は、2次元コードフォント（“QR\_CNTL”、“PDF417”、“DATA1”、“DATA2”、“DATA3”）および、コントロールフォント（“ESC\_FONT”）を組み合わせて使用します。

#### 3.3.1 2次元コードフォント一覧

各フォントは、以下の役割を持ちます。

フォント名	機能	詳細	備考
QR_CNTL	QRコード コマンド設定	二次元コード印刷用の各コマンドを出力します。	
PDF417	PDF417 コマンド設定	PDF417 印刷用の各コマンドを出力します。	
DATA1	データ設定	¥x20～¥x7Fを¥x00～¥x5Fへ置換えます。	¥x00～¥xFF の出力が可能
DATA2		¥x20～¥x7Fを¥x60～¥xBFへ置換えます。	
DATA3		¥x20～¥x5Fを¥xC0～¥xFFへ置換えます。	
ESC_FONT		¥x20～¥x7Fを置き換えしないで出力します。	¥x20～¥x7F の出力が可能

### 3.3.2 2次元コードフォント 記述方法

2次元コードを生成するには、以下の順序で記述します。

- ① 2次元コードタイプ設定  
各設定には初期値が設定されているため、変更したいパラメータのみ記述します。
- ② 2次元コードデータ設定  
2次元コードデータ設定用コマンドに続けて各種パラメータ、2次元コードデータを記述します。
- ③ 2次元コード展開情報取得（任意）  
1, 2で設定した内容に不整合が生じた場合、エラーを返します。
- ④ 2次元コード印刷

各種コマンドの内容について、詳しくは別冊の「スターラインモードコマンド仕様書」をご参照ください。

例) QRコード（誤り訂正率 25%）で '012345ABCD' の 2次元コードを生成する場合

記述データ： **E2A0\* 012345ABCDP**

	記述文字	設定フォント	意 味
①	'E2'	QR_CNTL	誤り訂正レベル Q（25%）に設定
②	'A0'	QR_CNTL	QRコードデータ設定（自動解析）
②	'*'	DATA1	QRコードデータ設定パラメータ A = ¥x0A = '*' ※ 1
②	' '	DATA1	QRコードデータ設定パラメータ 0 = ¥x00 = ' '（空白文字）※ 1
②	'012345ABCD'	ESC_FONT	2次元コードデータ
④	'P'	QR_CNTL	QRコード印字

※ 1 2次元コードデータのバイト数（10byte）を 16進数で表した '0A' を、  
ローバイト（A）・ハイバイト（0）の順で記述します。

印刷結果：



各設定フォントの詳細については「3.3.3 2次元コード コマンド設定フォント一覧」をご参照ください。

### 3.3.3 2次元コード コマンド設定フォント一覧

#### ■ QR\_CNTL (QR コード設定フォント)

文 字	機 能	ドライバの出力するコード
0	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x00
1	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x01
2	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x02
3	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x03
4	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x04
5	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x05
6	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x06
7	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x07
8	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x08
9	各 QR コード設定コマンドのパラメータ用	¥ x09
M	QR コードのモデル設定	¥ x1b ¥ x1dyS0
M1	QR コードのモデル設定：モデル 1	¥ x1b ¥ x1dyS0 ¥ x01
M2	QR コードのモデル設定：モデル 2	¥ x1b ¥ x1dyS0 ¥ x02
E	誤り訂正レベル設定	¥ x1b ¥ x1dyS1
* EI (E0)	誤り訂正レベル L (誤り訂正率 7%)	¥ x1b ¥ x1dyS1 ¥ x00
* Em (E1)	誤り訂正レベル M (誤り訂正率 15%)	¥ x1b ¥ x1dyS1 ¥ x01
* Eq (E2)	誤り訂正レベル Q (誤り訂正率 25%)	¥ x1b ¥ x1dyS1 ¥ x02
* Eh (E3)	誤り訂正レベル H (誤り訂正率 30%)	¥ x1b ¥ x1dyS1 ¥ x03
S1 ~ S8	モジュールサイズ設定 (単位：ドット)	¥ x1b ¥ x1dyS2( ¥ x01~08)
A0	QR コードデータ設定 (データ自動解析)	¥ x1b ¥ x1dyD1 ¥ x00
B	QR コードデータ設定 (データマニュアル解析)	¥ x1b ¥ x1dyD2
P	QR コードの印字	¥ x1b ¥ x1dyP

\*) 誤り訂正レベルは ( ) 内の設定方法でも可能です。

#### ■ PDF417 (PDF417 設定フォント)

文 字	機 能	ドライバの出力するコード
0	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x00
1	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x01
2	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x02
3	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x03
4	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x04
5	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x05
6	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x06
7	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x07
8	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x08
9	各 PDF417 設定コマンドのパラメータ用	¥ x09
S	PDF417 バーコードサイズの設定	¥ x1b ¥ x1dxS0
E	PDF417 セキュリティレベル (ECC) の設定	¥ x1b ¥ x1dxS1
M	PDF417 モジュールの X 方向サイズの設定	¥ x1b ¥ x1dxS2
A	PDF417 モジュールのアスペクト比の設定	¥ x1b ¥ x1dxS3
D	PDF417 バーコードデータの設定	¥ x1b ¥ x1dxD
P	PDF417 バーコードの印字	¥ x1b ¥ x1dxP
I	PDF417 バーコードの展開情報取得	¥ x1b ¥ x1dxI

■ ESC\_FONT,DATA1,DATA2,DATA3（2次元コードデータ設定フォント）

入力データ： アプリケーション（Word,vb等）で ユーザーが指定する文字		出力データ： プリンタドライバからプリンタに出力される文字コード			
文字	文字コード	ESC_FONT	DATA1	DATA2	DATA3
空白	¥ x20	¥ x20	¥ x00	¥ x60	¥ xC0
!	¥ x21	¥ x21	¥ x01	¥ x61	¥ xC1
"	¥ x22	¥ x22	¥ x02	¥ x62	¥ xC2
#	¥ x23	¥ x23	¥ x03	¥ x63	¥ xC3
\$	¥ x24	¥ x24	¥ x04	¥ x64	¥ xC4
%	¥ x25	¥ x25	¥ x05	¥ x65	¥ xC5
&	¥ x26	¥ x26	¥ x06	¥ x66	¥ xC6
'	¥ x27	¥ x27	¥ x07	¥ x67	¥ xC7
(	¥ x28	¥ x28	¥ x08	¥ x68	¥ xC8
)	¥ x29	¥ x29	¥ x09	¥ x69	¥ xC9
*	¥ x2A	¥ x2A	¥ x0A	¥ x6A	¥ xCA
+	¥ x2B	¥ x2B	¥ x0B	¥ x6B	¥ xCB
,	¥ x2C	¥ x2C	¥ x0C	¥ x6C	¥ xCC
-	¥ x2D	¥ x2D	¥ x0D	¥ x6D	¥ xCD
.	¥ x2E	¥ x2E	¥ x0E	¥ x6E	¥ xCE
/	¥ x2F	¥ x2F	¥ x0F	¥ x6F	¥ xCF
0	¥ x30	¥ x30	¥ x10	¥ x70	¥ xD0
1	¥ x31	¥ x31	¥ x11	¥ x71	¥ xD1
2	¥ x32	¥ x32	¥ x12	¥ x72	¥ xD2
3	¥ x33	¥ x33	¥ x13	¥ x73	¥ xD3
4	¥ x34	¥ x34	¥ x14	¥ x74	¥ xD4
5	¥ x35	¥ x35	¥ x15	¥ x75	¥ xD5
6	¥ x36	¥ x36	¥ x16	¥ x76	¥ xD6
7	¥ x37	¥ x37	¥ x17	¥ x77	¥ xD7
8	¥ x38	¥ x38	¥ x18	¥ x78	¥ xD8
9	¥ x39	¥ x39	¥ x19	¥ x79	¥ xD9
:	¥ x3A	¥ x3A	¥ x1A	¥ x7A	¥ xDA
;	¥ x3B	¥ x3B	¥ x1B	¥ x7B	¥ xDB
<	¥ x3C	¥ x3C	¥ x1C	¥ x7C	¥ xDC
=	¥ x3D	¥ x3D	¥ x1D	¥ x7D	¥ xDD
>	¥ x3E	¥ x3E	¥ x1E	¥ x7E	¥ xDE
?	¥ x3F	¥ x3F	¥ x1F	¥ x7F	¥ xDF
@	¥ x40	¥ x40	¥ x20	¥ x80	¥ xE0
A	¥ x41	¥ x41	¥ x21	¥ x81	¥ xE1
B	¥ x42	¥ x42	¥ x22	¥ x82	¥ xE2
C	¥ x43	¥ x43	¥ x23	¥ x83	¥ xE3
D	¥ x44	¥ x44	¥ x24	¥ x84	¥ xE4
E	¥ x45	¥ x45	¥ x25	¥ x85	¥ xE5

入力データ： アプリケーション（Word,vb 等）で ユーザーが指定する文字		出力データ： プリンタドライバからプリンタに出力される文字コード			
文字	文字コード	ESC_FONT	DATA1	DATA2	DATA3
F	¥ x46	¥ x46	¥ x26	¥ x86	¥ xE6
G	¥ x47	¥ x47	¥ x27	¥ x87	¥ xE7
H	¥ x48	¥ x48	¥ x28	¥ x88	¥ xE8
I	¥ x49	¥ x49	¥ x29	¥ x89	¥ xE9
J	¥ x4A	¥ x4A	¥ x2A	¥ x8A	¥ xEA
K	¥ x4B	¥ x4B	¥ x2B	¥ x8B	¥ xEB
L	¥ x4C	¥ x4C	¥ x2C	¥ x8C	¥ xEC
M	¥ x4D	¥ x4D	¥ x2D	¥ x8D	¥ xED
N	¥ x4E	¥ x4E	¥ x2E	¥ x8E	¥ xEE
O	¥ x4F	¥ x4F	¥ x2F	¥ x8F	¥ xEF
P	¥ x50	¥ x50	¥ x30	¥ x90	¥ xF0
Q	¥ x51	¥ x51	¥ x31	¥ x91	¥ xF1
R	¥ x52	¥ x52	¥ x32	¥ x92	¥ xF2
S	¥ x53	¥ x53	¥ x33	¥ x93	¥ xF3
T	¥ x54	¥ x54	¥ x34	¥ x94	¥ xF4
U	¥ x55	¥ x55	¥ x35	¥ x95	¥ xF5
V	¥ x56	¥ x56	¥ x36	¥ x96	¥ xF6
W	¥ x57	¥ x57	¥ x37	¥ x97	¥ xF7
X	¥ x58	¥ x58	¥ x38	¥ x98	¥ xF8
Y	¥ x59	¥ x59	¥ x39	¥ x99	¥ xF9
Z	¥ x5A	¥ x5A	¥ x3A	¥ x9A	¥ xFA
[	¥ x5B	¥ x5B	¥ x3B	¥ x9B	¥ xFB
¥	¥ x5C	¥ x5C	¥ x3C	¥ x9C	¥ xFC
]	¥ x5D	¥ x5D	¥ x3D	¥ x9D	¥ xFD
^	¥ x5E	¥ x5E	¥ x3E	¥ x9E	¥ xFE
_	¥ x5F	¥ x5F	¥ x3F	¥ x9F	¥ xFF
`	¥ x60	¥ x60	¥ x40	¥ xA0	-
a	¥ x61	¥ x61	¥ x41	¥ xA1	-
b	¥ x62	¥ x62	¥ x42	¥ xA2	-
c	¥ x63	¥ x63	¥ x43	¥ xA3	-
d	¥ x64	¥ x64	¥ x44	¥ xA4	-
e	¥ x65	¥ x65	¥ x45	¥ xA5	-
f	¥ x66	¥ x66	¥ x46	¥ xA6	-
g	¥ x67	¥ x67	¥ x47	¥ xA7	-
h	¥ x68	¥ x68	¥ x48	¥ xA8	-
i	¥ x69	¥ x69	¥ x49	¥ xA9	-
j	¥ x6A	¥ x6A	¥ x4A	¥ xAA	-
k	¥ x6B	¥ x6B	¥ x4B	¥ xAB	-
l	¥ x6C	¥ x6C	¥ x4C	¥ xAC	-



入力データ： アプリケーション（Word,vb 等）で ユーザーが指定する文字		出力データ： プリンタドライバからプリンタに出力される文字コード			
文字	文字コード	ESC_FONT	DATA1	DATA2	DATA3
m	¥ x6D	¥ x6D	¥ x4D	¥ xAD	-
n	¥ x6E	¥ x6E	¥ x4E	¥ xAE	-
o	¥ x6F	¥ x6F	¥ x4F	¥ xAF	-
p	¥ x70	¥ x70	¥ x50	¥ xB0	-
q	¥ x71	¥ x71	¥ x51	¥ xB1	-
r	¥ x72	¥ x72	¥ x52	¥ xB2	-
s	¥ x73	¥ x73	¥ x53	¥ xB3	-
t	¥ x74	¥ x74	¥ x54	¥ xB4	-
u	¥ x75	¥ x75	¥ x55	¥ xB5	-
v	¥ x76	¥ x76	¥ x56	¥ xB6	-
w	¥ x77	¥ x77	¥ x57	¥ xB7	-
x	¥ x78	¥ x78	¥ x58	¥ xB8	-
y	¥ x79	¥ x79	¥ x59	¥ xB9	-
z	¥ x7A	¥ x7A	¥ x5A	¥ xBA	-
{	¥ x7B	¥ x7B	¥ x5B	¥ xBB	-
	¥ x7C	¥ x7C	¥ x5C	¥ xBC	-
}	¥ x7D	¥ x7D	¥ x5D	¥ xBD	-
~	¥ x7E	¥ x7E	¥ x5E	¥ xBE	-
< DEL > ※	¥ x7F	¥ x7F	¥ x5F	¥ xBF	-

※ 文字による入力はできません。

### 3.3.4 2次元コードフォント使用方法

QRコード・PDF417フォントを使用した場合の2次元コードのデータは、500バイトまで指定可能です。  
(500バイトには、入力データ種別および、区切り記号も含まれます。)

以下に、2次元コードフォントを使用した Visual Basic のサンプルプログラムを示します。

#### ■ QRコード印刷 - サンプル1 (QRコードデータ設定：データマニュアル解析設定の場合)

```
Private Sub Command1_Click()

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi Tall"
    Printer.Print "QR Code Test Print for VB 6.0"

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print
    Printer.Print "DATA:"
    Printer.Print "http://www.star-m.jp/"
    Printer.Print
    Printer.Print "QR code:";

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"      ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "M2";                ' バーコードのモデル設定
    Printer.Print "Em";                ' 誤り訂正レベルの設定 (誤り訂正率 15%)
    Printer.Print "S3"                 ' モジュールサイズの設定 (モジュールサイズ3ドット)

    Printer.Print "B1";                ' バーコードデータの設定 (マニュアル解析) + ブロック数
    Printer.Print "2";                 ' 英数字 (データ種)

    Printer.Font.Name = "DATA1"        ' DATA1 = 0x0000 - 0x005F
    Printer.Print Chr(&H35);           ' 0x35 → 0x15, 0x20 → 0x0 に変換
    Printer.Print Chr(&H20);           ' バイト数: 21(0x15)+0(0x0)=21byte

    Printer.Font.Name = "ESC_FONT"     ' ESC_FONT = 0x0020 - 0x007F
    Printer.Print "http://www.star-m.jp/"; ' バーコードデータ (21byte)

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"      ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "P"                  ' バーコードデータの印字

    Printer.EndDoc

End Sub
```

**Point!** QRコードデータ設定をデータマニュアル解析に設定した場合は、必ずブロック数と入力データ種を設定してください。  
設定方法の詳細は、別冊の「スターラインモードコマンド仕様書」をご参照ください。

■ QR コード印刷 - サンプル 2 (QR コードデータ設定：データ自動解析設定の場合)

```
Private Sub Command2_Click()

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi Tall"
    Printer.Print "QR Code Test Print for VB 6.0"

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print
    Printer.Print "DATA:"
    Printer.Print "http://www.star-m.jp/"
    Printer.Print
    Printer.Print "QR code:";

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"           ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "M1";                     ' バーコードのモデル設定
    Printer.Print "Eq";                     ' 誤り訂正レベルの設定 (誤り訂正率 25%)
    Printer.Print "S7"                      ' モジュールサイズの設定 (モジュールサイズ 7 ドット)

    Printer.Print "A0";                     ' バーコードデータの設定 (自動解析)

    Printer.Font.Name = "DATA1"             ' DATA1 = 0x0000 - 0x005F
    Printer.Print Chr(&H35);                 ' 0x35 → 0x15, 0x20 → 0x0 に変換
    Printer.Print Chr(&H20);                 ' バイト数：21(0x15)+0(0x0)=21byte

    Printer.Font.Name = "ESC_FONT"          ' ESC_FONT = 0x0020 - 0x007F
    Printer.Print "http://www.star-m.jp/"; ' バーコードデータ (21byte)

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"           ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "P"                       ' バーコードデータの印字

    Printer.EndDoc

End Sub
```

■ QR コード印刷 - サンプル 3 (QR コードデータ設定：データ自動解析設定の場合)

```
Private Sub Command3_Click()

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi Tall"
    Printer.Print "QR Code Test Print for VB 6.0"

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print
    Printer.Print "DATA:"
    Printer.Font.Name = " 漢字全角 8cpi"
    Printer.Print " スター精密株式会社 "
    Printer.Print
    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print "QR code:";

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"           ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "M2";                     ' バーコードのモデル設定
    Printer.Print "E1";                     ' 誤り訂正レベルの設定 (誤り訂正率 7%)
    Printer.Print "S6"                      ' モジュールサイズの設定 (モジュールサイズ 6 ドット)

    Printer.Print "A0";                     ' バーコードデータの設定 (データ自動解析)

    Printer.Font.Name = "DATA1"             ' DATA1 = 0x0000 - 0x005F
    Printer.Print Chr(&H32);                 ' 0x32 → 0x12, 0x20 → 0x0 に変換
    Printer.Print Chr(&H20);                 ' バイト数：18(0x12)+0(0x0)=18byte

    Printer.Font.Name = "ESC_FONT_KANJI"    ' ESC_FONT_KANJI = シフト JIS
    Printer.Print " スター精密株式会社 ";    ' バーコードデータ (18byte)

    Printer.Font.Name = "QR_CNTL"           ' QR_CNTL フォント設定
    Printer.Print "P"                       ' バーコードデータの印字

    Printer.EndDoc

End Sub
```

■ PDF417 印刷 - サンプル 1

```
Private Sub Command4_Click()

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi Tall"
    Printer.Print "PDF417 Test Print for VB 6.0"

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print
    Printer.Print "DATA:"
    Printer.Print "1234567890"
    Printer.Print
    Printer.Print "PDF417:";

    Printer.Font.Name = "PDF417"

    Printer.Print "S023";           ' バーコードサイズ設定
    Printer.Print "E3";             ' ECC レベルの設定
    Printer.Print "M3"              ' モジュールの X 方向サイズの設定
    Printer.Print "A3"              ' モジュールのアスペクト比の設定
    Printer.Print "D";              ' バーコードデータの設定

    Printer.Font.Name = "DATA1"     ' DATA1 = 0x0000 - 0x005F
    Printer.Print Chr(&H2A);         ' バーコードデータのバイト数
    Printer.Print Chr(&H20);

    Printer.Font.Name = "ESC_FONT"  ' ESC_FONT = 0x0020 - 0x007F
    Printer.Print "1234567890";

    Printer.Font.Name = "PDF417"
    Printer.Print "P"               ' バーコードデータの印字

    Printer.EndDoc

End Sub
```

■ PDF417 印刷 - サンプル 2

```
Private Sub Command5_Click()

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi Tall"
    Printer.Print "PDF417 Test Print for VB 6.0"

    Printer.Font.Name = "Printer 17cpi"
    Printer.Print
    Printer.Print "DATA:"
    Printer.Print "http://star-m.jp/"
    Printer.Print
    Printer.Print "PDF417:";

    Printer.Font.Name = "PDF417"

    Printer.Print "S023";           'バーコードサイズ設定
    Printer.Print "E3";             'ECC レベルの設定
    Printer.Print "M3"              'モジュールの X 方向サイズの設定
    Printer.Print "A3"              'モジュールのアスペクト比の設定

    Printer.Print "D";              'バーコードデータの設定

    Printer.Font.Name = "DATA1"     'DATA1 = 0x0000 - 0x005F
    Printer.Print Chr(&H31);         'バーコードデータのバイト数
    Printer.Print Chr(&H20);

    Printer.Font.Name = "ESC_FONT"  'ESC_FONT = 0x0020 - 0x007F
    Printer.Print "http://star-m.jp/";

    Printer.Font.Name = "PDF417"

    Printer.Print "P"               'バーコードデータの印字

    Printer.EndDoc

End Sub
```

## 3.4 コントロールフォント

Line

コントロールフォントを使用して、プリンタ機能を制御することができます。

プリンタドライバにて「印刷モード」を“Line”に設定することにより使用できます。

### 3.4.1 コントロールフォント機能一覧

下表は、コントロールフォントによって実行できる機能と制御文字の対照表です。

文 字	機 能
A	キャッシュドロワ 1 の駆動（50ms 駆動）
B	キャッシュドロワ 1 の駆動（100ms 駆動）
C	キャッシュドロワ 1 の駆動（150ms 駆動）
D	キャッシュドロワ 1 の駆動（200ms 駆動）
E	キャッシュドロワ 1 の駆動（250ms 駆動）
d	キャッシュドロワ 2 の駆動（200ms 駆動）
6	L F の出力
7	C R の出力
F	オートカッター：フルカット
P	オートカッター：パーシャルカット
G	N V ビットイメージ番号 1：ノーマルモード印刷
H	N V ビットイメージ番号 2：ノーマルモード印刷
I	N V ビットイメージ番号 3：ノーマルモード印刷
J	N V ビットイメージ番号 4：ノーマルモード印刷
K	N V ビットイメージ番号 5：ノーマルモード印刷
Q	N V ビットイメージ番号 1：横倍モード印刷
R	N V ビットイメージ番号 2：横倍モード印刷
S	N V ビットイメージ番号 3：横倍モード印刷
T	N V ビットイメージ番号 4：横倍モード印刷
U	N V ビットイメージ番号 5：横倍モード印刷
V	N V ビットイメージ番号 1：縦倍モード印刷
W	N V ビットイメージ番号 2：縦倍モード印刷
X	N V ビットイメージ番号 3：縦倍モード印刷
Y	N V ビットイメージ番号 4：縦倍モード印刷
Z	N V ビットイメージ番号 5：縦倍モード印刷
[	N V ビットイメージ番号 1：4 倍モード印刷
]	N V ビットイメージ番号 2：4 倍モード印刷
^	N V ビットイメージ番号 3：4 倍モード印刷

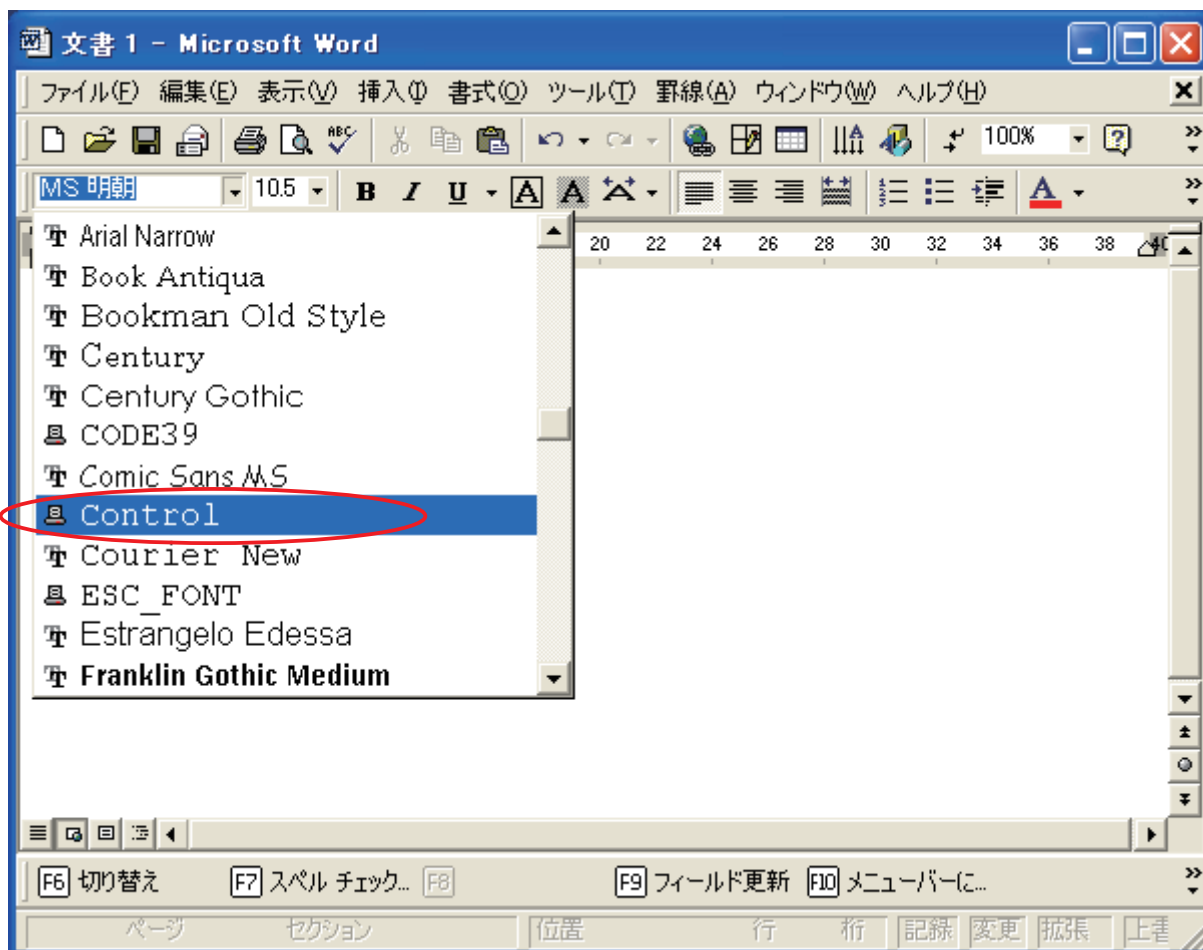
文 字	機 能
_	N Vビットイメージ番号 4 : 4 倍モード印刷
`	N Vビットイメージ番号 5 : 4 倍モード印刷
a	位置揃えの指定：左揃え
b	位置揃えの指定：中央揃え
c	位置揃えの指定：右揃え
e	3 mm ( 1 / 8 インチ) 改行の設定
f	4 mm ( 1 / 6 インチ) 改行の設定
g	国際文字の選択：U S A
h	国際文字の選択：フランス
i	国際文字の選択：ドイツ
j	国際文字の選択：イギリス
k	国際文字の選択：デンマーク I
l	国際文字の選択：スウェーデン
m	国際文字の選択：イタリア
n	国際文字の選択：スペイン I
o	国際文字の選択：日本
p	国際文字の選択：ノルウェー
q	国際文字の選択：デンマーク II
r	国際文字の選択：スペイン II
s	国際文字の選択：ラテンアメリカ
t	白黒反転印字の設定
u	白黒反転印字の解除
v	カスタマディスプレイ：データ転送開始
w	カスタマディスプレイ：データ転送終了
x	カスタマディスプレイ：ディスプレイクリア

注記：プリンタがサポートしていない文字を指定した場合は無視されます。



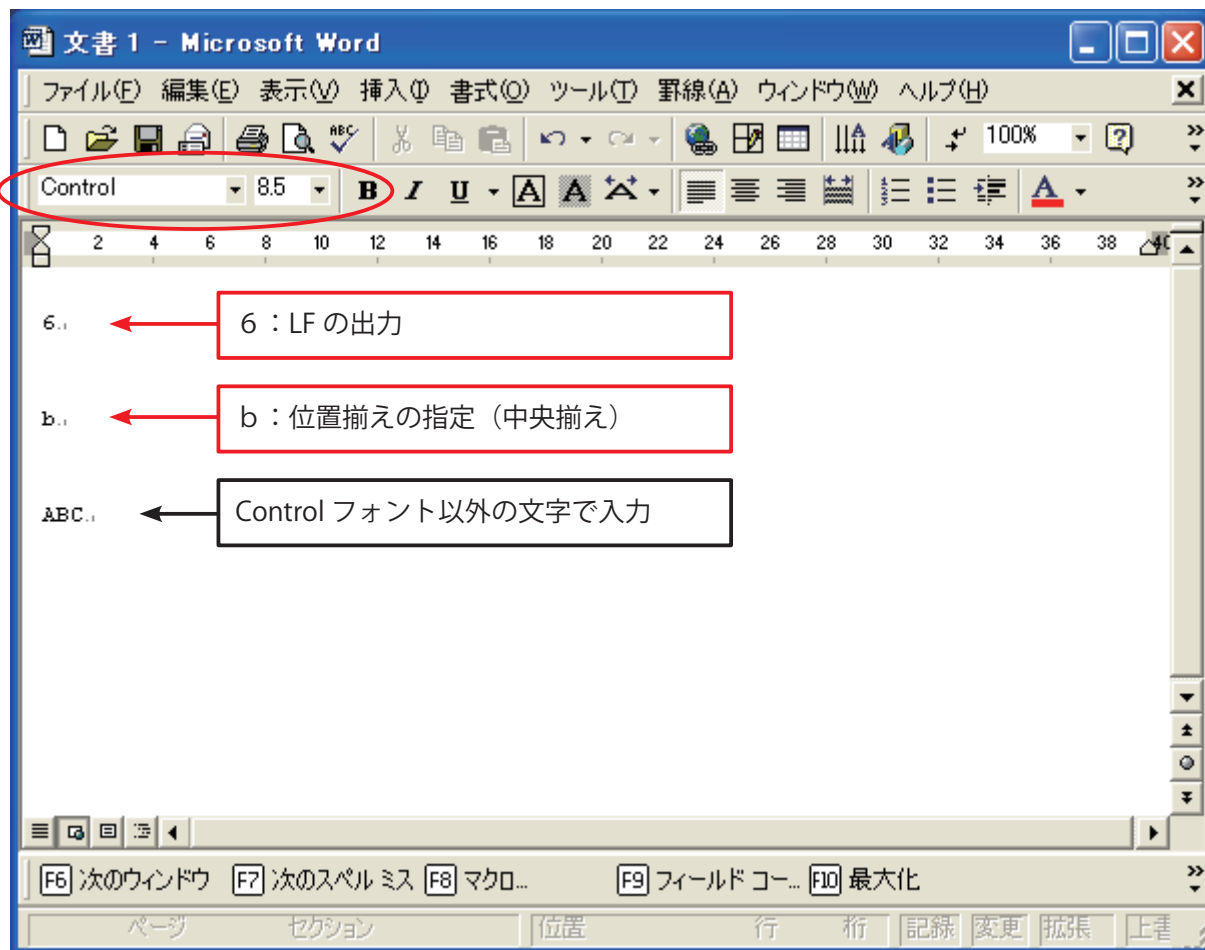
### 3.4.2 Microsoft Word におけるコントロールフォント使用方法

- ① フォントの一覧より『Control』フォントを選択します。



注記：合わせて「4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意」をご参照ください。

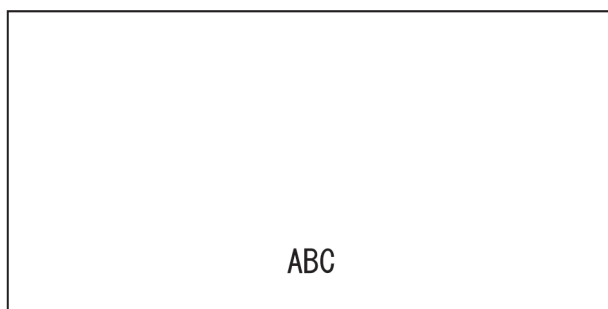
- ① 実行したい機能に割り当てられた文字（「3.4.1 コントロールフォント機能一覧」参照）を入力します。



**Point!** コントロールフォントを設定した文字は、フォント高さを規定値の“8.5”に設定してください。

- ② 印刷します。  
この使用例の場合、一行改行後に用紙の中央に“ABC”と印字されます。

< 印刷結果 >



### 3.5 デバイスフォント 制限事項

- 同一の行では、ひとつのデバイスフォントだけを指定してください。  
複数のデバイスフォントを混在させると、印刷結果にずれが生じることがあります。
- 同一の行で、デバイスフォントとグラフィックデータ（Windows フォント、罫線など）を指定しないでください。印刷結果にずれが生じることがあります。
- コントロールフォントは、文字の印刷には使用できません。
- バーコードフォントおよび 2 次元コードフォントを使用した場合、“Microsoft Word” などのアプリケーションソフトの編集画面には入力されたコードの文字のみが表示されます。  
バーコードイメージは印刷実行することによって印刷されます。
- デバイスフォントを利用したバーコード印刷および 2 次元コードの印刷を行なうと、正しいページ長で印刷されない場合があります。
- デバイスフォントを利用した 2 次元コード印刷を行う場合、2 次元コードのデータは同一行に記述してください。また、2 次元コードのデータは 500 バイト以内のデータサイズとしてください。  
このデータ長の制限値は、印刷に使用する用紙設定の印字可能領域に依存しており、500 バイトは、印字領域 104mm が基準となります。このため、印刷に使用する用紙設定の幅が 104mm よりも狭い用紙を指定すると、500 バイトのデータでも印字が行えない場合があります。  
なお、本制限は VB プログラム内においても適用されます。VB プログラムでデータを送信する場合でも、そのデータ長は 500 バイト以内としてください。  
複数行に渡って 2 次元コードデータを指定した場合、また、500 バイトを超えるデータを指定した場合は、その 2 次元コードデータが正しく印刷されず、さらにその後の印刷内容についても保障されません。
- QR コードの印刷を行なう場合、“Microsoft Word” では漢字（シフト JIS）を使用した QR コードの印刷を行なうことはできません。  
“Microsoft Excel” および “ワードパッド” においては、漢字（シフト JIS）を使用した QR コードの印刷を行なうことができます。

## 4. ドキュメントを印刷する際のガイドライン

- ・本ドライバは、最初から定義されている用紙サイズと、ユーザー定義の用紙サイズをサポートしています。必要に応じてユーザー定義サイズをご利用ください。  
(詳細は「2.3.2 ユーザー定義による用紙サイズの作成」をご参照ください。)

### 4.1 シリアルインターフェイスで印刷される際のご注意

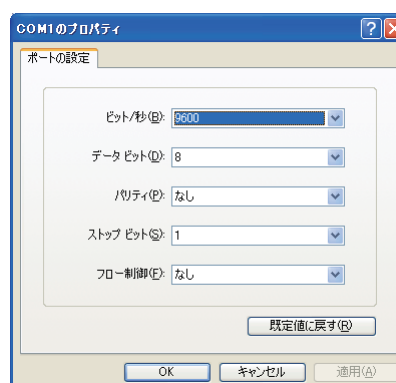
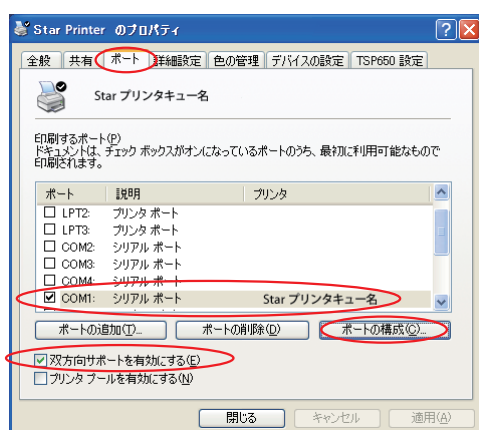
TSP828L Windows ドライバからシリアルインターフェイスを使用して印刷を行う場合には、プリンタドライバの設定にて「印刷モード」を“Line”に設定して使用されることを推奨します。“Line”使用時には、デバイスフォントをご使用いただくと、より高速な印字が可能です。

また、プリンタの設定とプリンタポートの設定を合わせていただく必要があります。

プリンタの設定内容は、プリンタの自己印字を行なうことで確認できます。  
詳しくは別冊の「製品仕様書」をご参照ください。

プリンタポートの設定は、以下の手順で行なってください。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと FAX ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② 設定を行うプリンタキューを右クリックして、プルダウンメニューより、Windows 2000/XP では [ プロパティ ] を、Windows Vista では [ 管理者として実行 ] - [ プロパティ ] を、Windows 7 では [ プリンターのプロパティ ] をクリックします。
- ③ Windows Vista をご使用の場合は “ ユーザーアカウント制御画面 ” が表示されますので、[ 続行 ] をクリックします。
- ④ プロパティ画面が開きますので [ ポート ] タブをクリックします。  
接続するポートを選択して [ ポートの構成 ] をクリックすると、ポートのプロパティが表示されます。  
プリンタの設定内容に合った設定を行ってください。



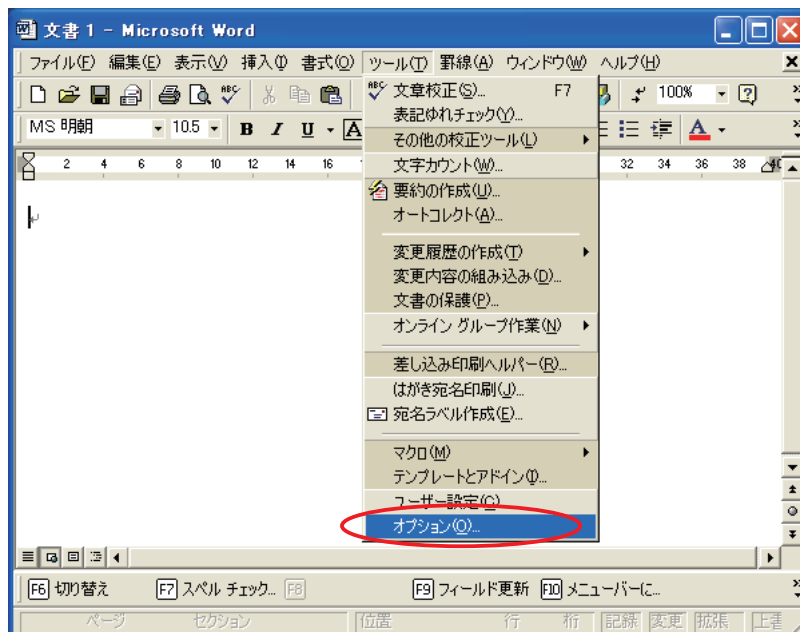
**Point!** シリアル接続にて『フロー制御』を『Xon/Xoff』とする場合には、「双方向サポートを有効にする」チェックを外してください。

## 4.2 Microsoft Word を使用される際のご注意

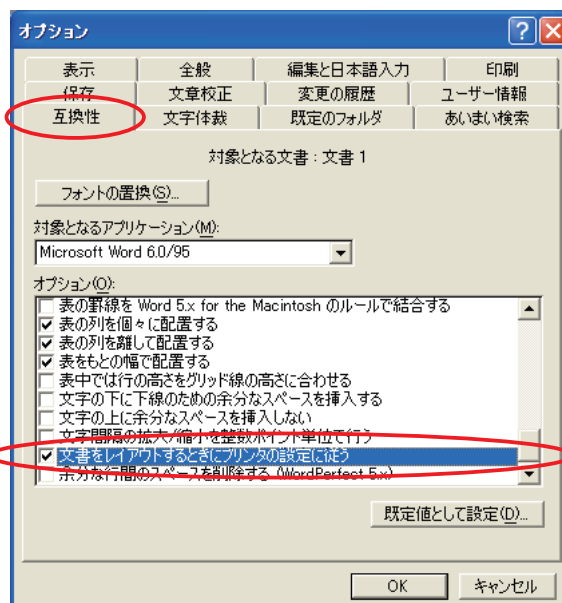
Word97 以降の文書フォーマットをそのままお使いになる場合、デバイスフォントを正しく使用できません。デバイスフォントを正しく使用されるために、次の設定を行ってください。

### ■ Microsoft Word 2002 を使用される場合

- ① Word の [ ツール ] メニューから [ オプション ] を選択します。




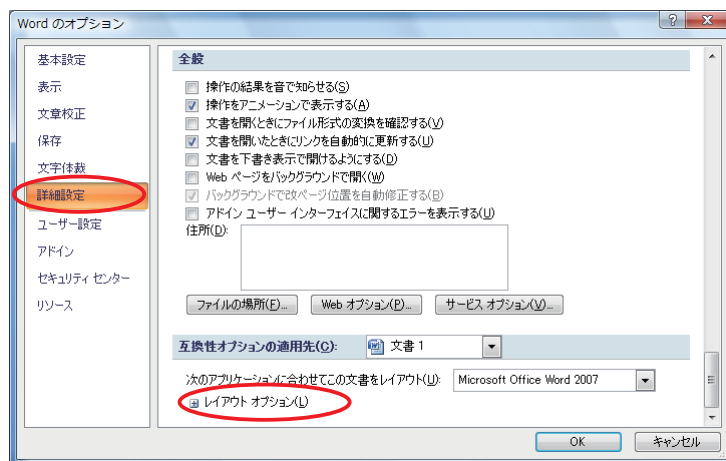
- ② [ 互換性 ] タブをクリックし、[ オプション ] の「文書をレイアウトする時にプリンタの設定に従う」のチェックボックスを選択後、[ OK ] をクリックしてください。



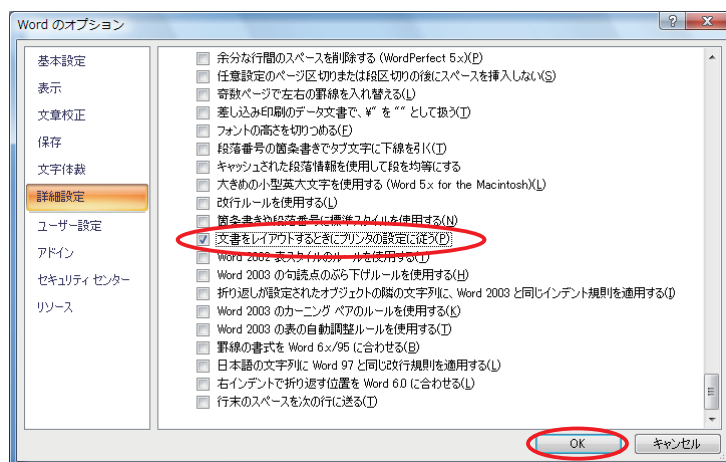
- ③ [ ファイル ] メニューの「上書き保存」を選択して文書を保存してください。

## ■ Microsoft Word 2007 を使用される場合

- ① オフィスボタン  の [WORD のオプション] をクリックして、「詳細設定」を選択し、「レイアウトオプション」をクリックします。



- ② 「文書をレイアウトする時にプリンタの設定に従う」のチェックボックスを選択後、[OK] をクリックしてください。



- ③ [ファイル] メニューの「上書き保存」を選択して文書を保存してください。

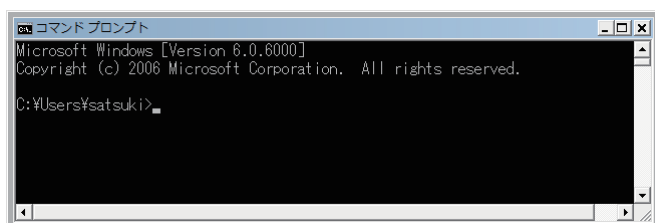
注記：ページ設定を変更すると、オプション設定が元に戻ってしまう場合があります。

## 5. イーサネット環境を使用する際のガイドライン

### 5.1 手動仮 IP アドレス設定

以下の手順でプリンタに対して、手動で仮 IP アドレスを設定することができます。仮 IP アドレスを設定することにより、IP アドレスの設定されていないプリンタへの接続が行えるようになります。

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択、Windows Vista/7 では [すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。
- ② Windows Vista/7 をご使用の場合、" ユーザーアカウント制御画面 " が表示されますので [許可] または [はい] をクリックしてください。
- ③ コマンドプロンプトが起動します。



以下のコマンドを実行することにより、プリンタに仮 IP アドレスを設定してください。

1. arp -d (プリンタ仮 IP アドレス)
2. arp -s (プリンタ仮 IP アドレス) (プリンタ MAC アドレス)
3. ping (プリンタ仮 IP アドレス)
4. arp -d (プリンタ仮 IP アドレス)

.....  
 具体例： 仮 IP アドレス (192.168.32.55) を設定する場合  
 .....

```
arp -d 192.168.32.55
arp -s 192.168.32.55 00-11-62-00-03-4D
ping 192.168.32.55
arp -d 192.168.32.55
.....
```

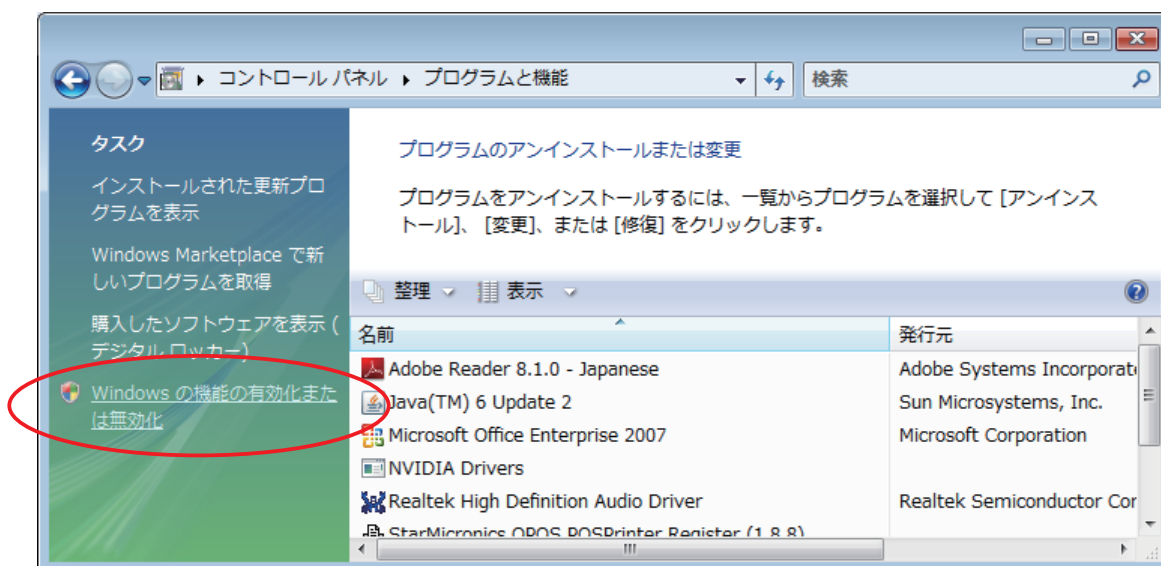
**Point!** ここで設定される " 仮 IP アドレス " は、プリンタの電源を切るとクリアされます。  
 ひきつづき、IP アドレスの設定作業を行ってください。

## 5.2 手動 IP アドレス設定

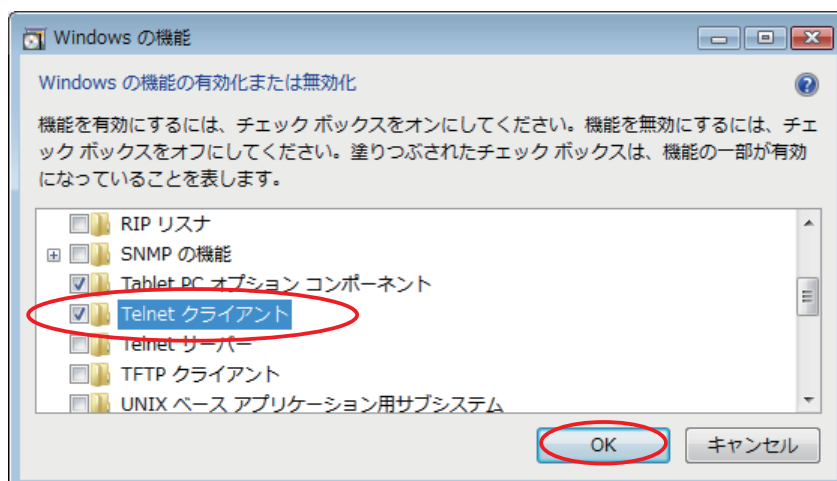
Telnet コマンドにより、直接プリンタに接続して設定を行います。

■ Windows Vista/7 をご使用の場合は、事前に以下の内容を確認してください。

- ① Windows のスタートメニューから [コントロールパネル] を選択します。
- ② 「プログラムと機能」を起動します。
- ③ タスク一覧より "Windows の機能の有効化または無効化" を選択します。



- ④ Windows Vista では " ユーザーアカウント制御画面 " が表示されますので、[許可] をクリックします。
- ⑤ 「Telnet クライアント」のチェックがついていない場合は、チェックを付けて [OK] をクリックします。

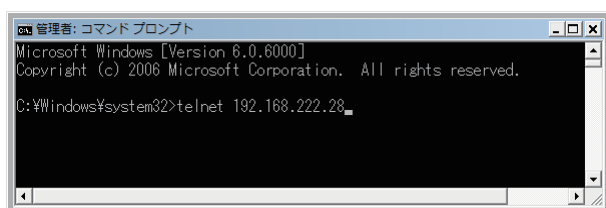


- ⑥ 設定を変更した場合には、コンピュータを再起動します。



手動 IP アドレスの設定は、以下の手順で行います。

- ① コマンドプロンプトを起動します。  
Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択、Windows Vista/7 では [すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を右クリックして、[管理者として実行] をクリックします。
- ② Windows Vista/7 をご使用の場合、" ユーザ制御画面 " が表示されますので [許可] または [はい] をクリックします。
- ③ Telnet コマンドにより、設定を行うプリンタに接続します。



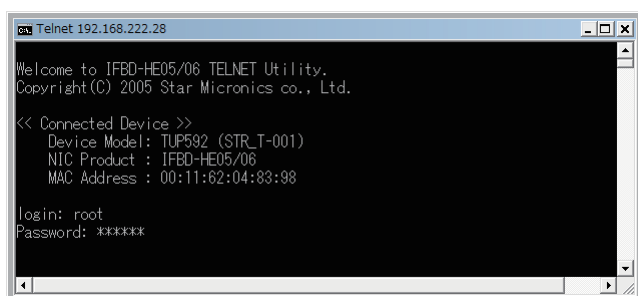
例： > telnet 192.168.32.55



設定を行うプリンタの IP アドレス

**Point!** IP アドレスが設定されていないプリンタには、接続が行えません。  
「5.1 手動仮IPアドレス設定」をご参照の上、あらかじめ仮IPアドレスの設定を行ってください。

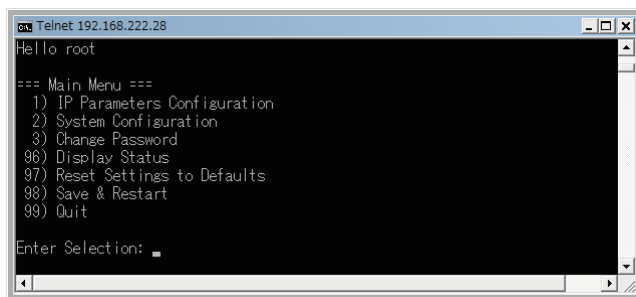
- ④ 設定を行うプリンタに "root" ユーザでログインします。  
工場出荷時のパスワードは "public" です。  
パスワードの変更を行った場合には、変更したパスワードを入力してください。



⑤ 表示されるのは以下のメニューです。

- 1) IP Parameters Configuration
  - 2) System Configuration
  - 3) Change Password
  - 96) Display Status
  - 97) Reset Settings to Defaults
  - 98) Save & Restart
  - 99) Quit
- Enter Selection:

処理したい内容に合わせて番号を入力します。



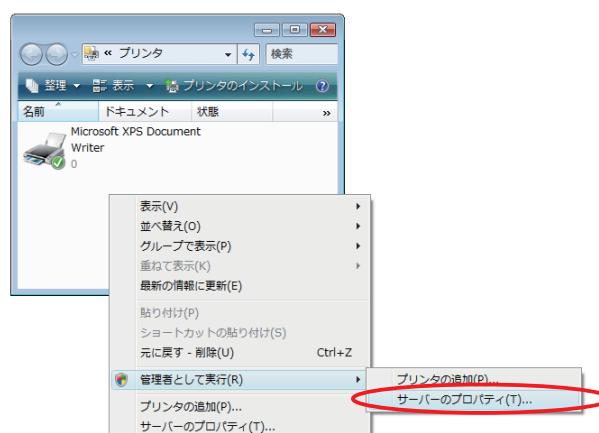
⑥ 全ての設定が終わったら " 98 (Save & Restart)" - " 1 (Save & Restart device & Configuration printing)"  
または " 2 (Save & Restart device)" で、設定内容の保存を行ってください。  
プリンタに設定内容を保存した後、プリンタのリセットがかかります。

## 5.3 TCP/IP プリンタポートの設定

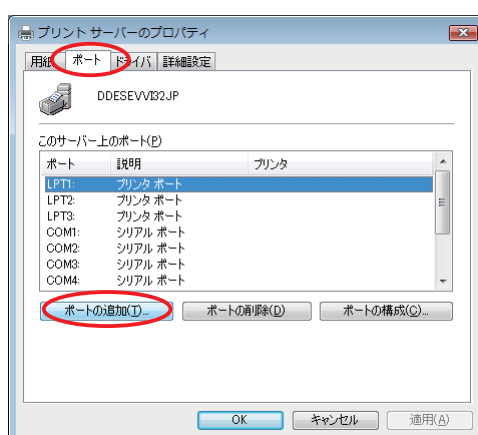
### 5.3.1 TCP/IP プリンタポートの追加

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと Fax ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② Windows 2000/XP/Vista では、起動したフォルダの余白部分を右クリックしてプルダウンメニューより、Windows 2000/XP では [ サーバーのプロパティ ] を、Windows Vista では [ 管理者として実行 ] - [ サーバーのプロパティ ] をクリックします。Windows 7 では、設定するプリンタのアイコンを選択して、メニューより [ プリントサーバープロパティ ] をクリックします。

<< Windows Vista の場合 >>



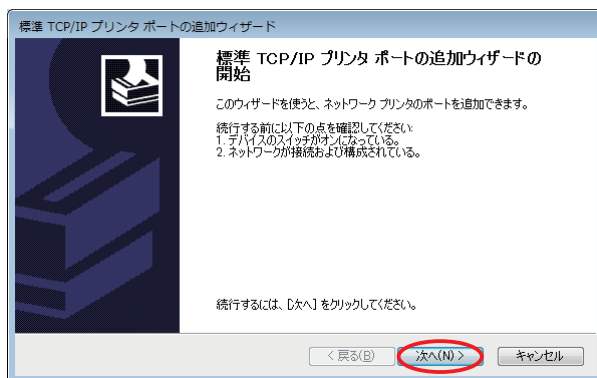
- ③ Windows Vista をご使用の場合、" ユーザーアカウント制御画面 " が表示されますので [ 続行 ] をクリックします。
- ④ [ ポート ] タブを開き、[ ポートの追加 ] をクリックします。



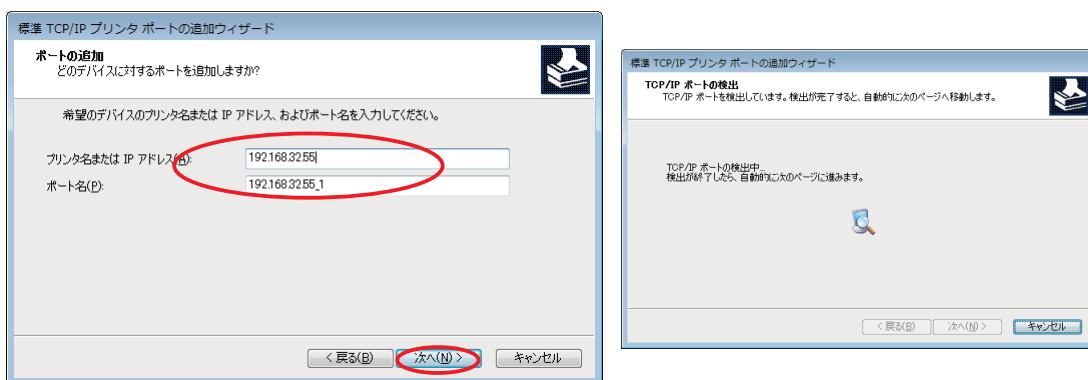
- ⑤ ポートの種類として "Standard TCP/IP Port" を選択して、[ 新しいポート ] をクリックします。



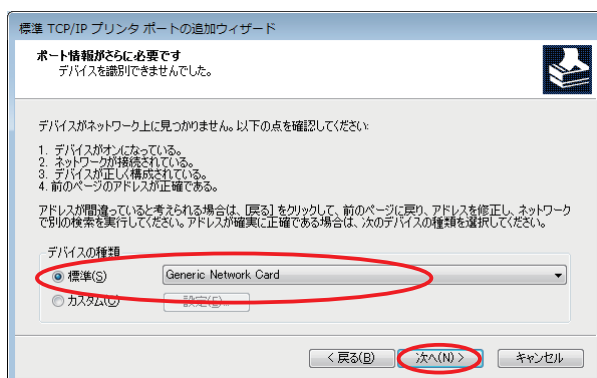
- ⑥ [次へ] をクリックします。



- ⑦ 「プリンタ名または IP アドレス」に、作成する TCP/IP ポートの IP アドレスを、「ポート名」に作成するポート名を入力して [次へ] をクリックします。  
TCP/IP ポートの検出画面が表示され、TCP/IP ポートの検出を行います。



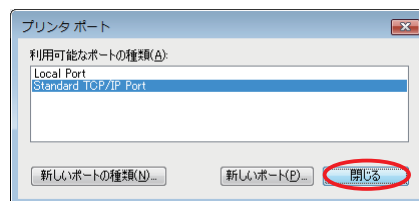
- ⑧ デバイスの種類として "Generic Network Card" を選択して [次へ] をクリックします。



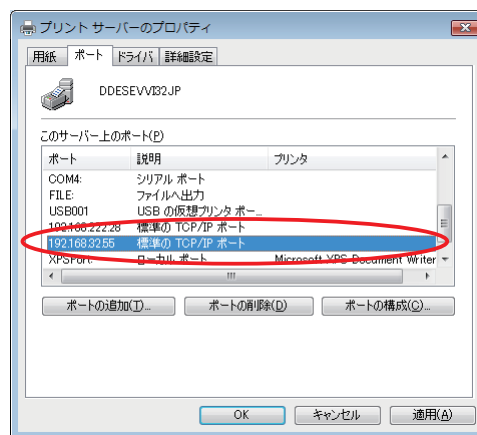
- ⑨ 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了画面が表示されます。表示された内容でポートの作成を行う場合には [完了] をクリックします。



- ⑩ [閉じる] をクリックします。



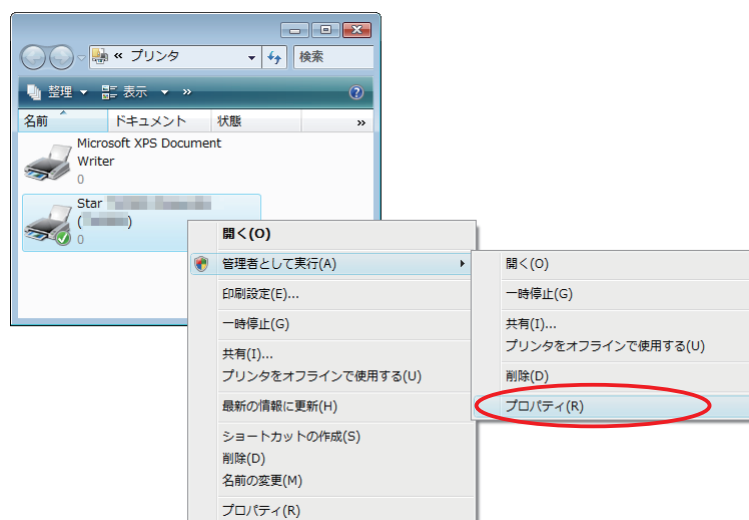
- ⑪ ポート一覧に作成した TCP/IP ポートが表示されていれば、ポートの作成は正しく完了しています。



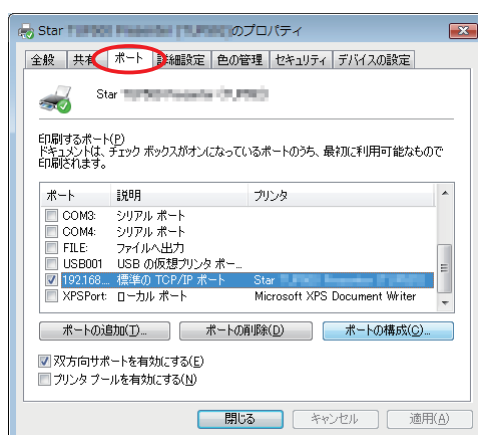
### 5.3.2 TCP/IP プリンタポートの変更

- ① Windows のスタートメニューから、Windows 2000/XP では [ プリンタと Fax ] を、Windows Vista では [ コントロールパネル ] より [ プリンタ ] を、Windows 7 では [ デバイスとプリンター ] を起動します。
- ② ポートの設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックして、Windows 2000/XP では [ プロパティ ] を、Windows Vista では [ 管理者として実行 ] - [ プロパティ ] を、Windows 7 では [ プリンターのプロパティ ] をクリックします。

<< Windows Vista の場合 >>

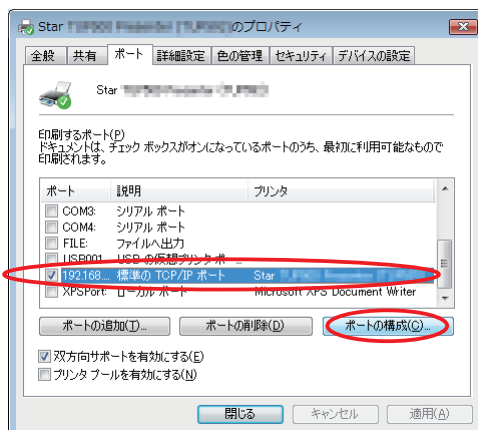


- ③ Windows Vista をご使用の場合には、" ユーザアカウント制御画面 " が表示されますので、[ 続行 ] をクリックします。
- ④ [ ポート ] タブを開きます。

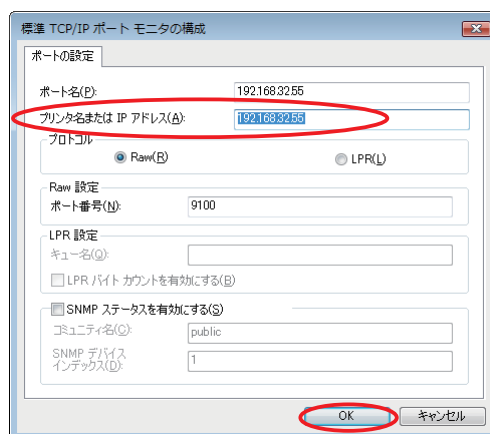


## ■ IP アドレス変更

- ① 設定された IP アドレスの変更を行うポートを選択して、[ポートの構成] をクリックします。

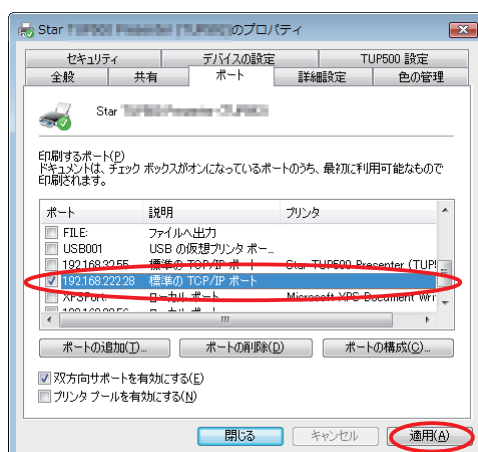


- ② 新しい IP アドレスを入力して、[OK] をクリックします。



## ■ 印刷するポートの変更

ポート一覧から印刷するポートを選択して [適用] をクリックします。



## ■ ポート名の変更

一度作成したポート名は変更できません。

新しい名前でのポートの追加を行い、印刷するポートを変更し、古い名前のポートを削除することで対応してください。

## 6. 改訂履歷

[illegible]





**特機事業部**

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話：054-347-0112 ( 営業直通 )

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>